
身元確認のための歯科情報照合システム

Dental Finder

Version 1.01

東北大学 大学院情報科学研究科 情報基礎科学専攻 青木研究室
dental@aoki.ecei.tohoku.ac.jp

注意

本書を印刷する際は、本書の[印刷]から[選択されたトピックの印刷]を選択するか、マニュアル(印刷用)をご利用ください。すべてのトピックを印刷できます。
本書の[印刷]から[選択された見出しおよびすべてのサブトピックを印刷]を選択すると、画像が正しく印刷できない場合があります。

目次

1.	はじめに.....	4
1.1.	対応 OS.....	5
1.2.	Dental Finder でできること.....	5
2.	システムのインストールとアンインストール.....	6
2.1.	Dental Finder のインストール.....	6
2.2.	Dental Finder のアンインストール.....	8
3.	起動と終了.....	11
3.1.	起動方法.....	11
3.1.1.	[スタート]メニューの[すべてのプログラム]から起動.....	11
3.1.2.	デスクトップのショートカットから起動.....	14
3.1.3.	データファイルをダブルクリックして起動.....	16
3.2.	終了方法.....	17
3.2.1.	[終了]ボタンから終了.....	17
3.2.2.	[ファイル]メニューの[終了]から終了.....	18

3.2.3.	タイトルバーの[閉じる]ボタンから終了	19
3.2.4.	タイトルバーの[閉じる]メニューから終了	20
4.	Dental Finder の画面について.....	22
4.1.	メイン画面	22
4.1.1.	メニュー.....	23
4.1.2.	死後/生前データ操作エリア.....	24
4.1.3.	検索条件設定エリア	24
4.2.	登録修正画面	25
4.2.1.	個体識別情報設定エリア	26
4.2.2.	デンタルチャート設定エリア	27
4.2.3.	一括設定エリア	28
4.3.	分類基準画面	29
4.4.	総検索画面	29
4.5.	個別検索画面	30
4.6.	環境設定画面	31
4.7.	判明データ比較画面	32
5.	バージョンの確認方法	33
5.1.	Dental Finder の[ヘルプ]メニューから確認	33
5.2.	Dental Finder のウィンドウ・タイトル・メニューから確認.....	34
5.3.	コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]から確認	35
6.	歯科情報を管理する.....	37
6.1.	死後データ.....	37
6.1.1.	新規に登録する	37
6.1.2.	既に登録されているデータを修正する	40
6.1.3.	既に登録されているデータを削除する	42
6.1.4.	既に登録されているデータを外部ファイルへエクスポートする.....	43
6.1.5.	外部ファイルからインポートする	45
6.1.6.	判明済みデータを確認する.....	47
6.2.	生前データ.....	48
6.2.1.	新規に登録する	48
6.2.2.	既に登録されているデータを修正する	50
6.2.3.	既に登録されているデータを削除する	52
6.2.4.	既に登録されているデータを外部ファイルへエクスポートする.....	54
6.2.5.	外部ファイルからインポートする	55
6.2.6.	判明済みデータを確認する.....	58
6.3.	プロジェクト名を変更する	59
6.4.	プロジェクトを保存する.....	61
6.5.	プロジェクトを切り替える.....	61

7.	身元特定に有力な組合せを検索する.....	64
7.1.	全ての検索結果を確認する(総検索).....	64
7.1.1.	検索結果を表示する.....	64
7.1.2.	検索結果をファイルへ出力する.....	65
7.1.3.	検索結果を印刷する.....	66
7.2.	1個人に対する検索結果を確認する(個別検索).....	68
7.2.1.	メイン画面から検索結果を表示する.....	68
7.2.2.	総検索画面から1個人を指定して検索結果を表示する.....	69
7.2.3.	検索結果をファイルへ出力する.....	70
7.2.4.	検索結果を印刷する.....	72
8.	検索情報を変更する.....	74
8.1.	照合優先度の係数を変更する.....	74
8.2.	スコアの重みづけを変更する.....	75
9.	入力ファイルのフォーマット.....	77
9.1.	死後データ、および生前データのインポートファイル.....	77
10.	出力ファイルのフォーマット.....	81
10.1.	死後/生前データのエクスポートファイル.....	81
10.2.	総検索の結果ファイル.....	84
10.3.	個別検索の結果ファイル.....	85
10.4.	総検索の結果印刷.....	87
10.5.	個別検索の結果印刷.....	87

1. はじめに

Dental Finder は、災害や事故などによって亡くなられた方の身元確認を円滑、かつ迅速に進めることを目的とした歯科情報照合システムです。遺体の身元確認(個人識別)の支援を目的として、次のような機能を備えています。

- 遺体の検視(検死)によって得られる歯科情報をデータベースとして管理する機能
- 行方不明者の診療録などから得られる歯科情報をデータベースとして管理する機能
- 2つのデータベースに格納された歯科情報を照合し、身元の特定に有効な情報を提示する機能

Dental Finder で取り扱う歯科情報としては、一般にデンタルチャートの形で表現される歯牙の特徴や治療の種類のほか、性別や年齢といった個人の特定に有効な情報も含まれます。

なお、遺体の歯科情報を「死後データ」と呼び、行方不明者の診療録などから読み取られる歯科情報を「生前データ」と呼びます。このとき、これらの「死後データ」と「生前データ」をまとめて、1つの「プロジェクト」として管理します。このため、災害・事故・事件などの種類に応じてプロジェクトを複数に分割することができます。

プロジェクトは、Dental Finder をインストールした PC 内で管理できるので、ネットワークへの接続は必要ありません。なお、ネットワークで接続された記憶装置への保存も可能です。

開発の経緯および謝辞

本ソフトウェアは、東日本大震災の身元確認作業が長期化する中で(2012年12月現在も継続中)、その現場の知識と経験を踏まえて開発されました。今後の大規模な災害・事故等における身元確認作業の迅速化に少しでも貢献できれば幸いです。

開発を進めるに当たり、東日本大震災の身元確認作業が困難をきわめる現場において、宮城県歯科医師会の江澤庸博先生および柏崎潤先生、群馬県検視警察医の小菅栄子先生、宮城県警察本部の伊東哲男様、日本歯科医師会の柳川忠廣先生をはじめとする多数の皆様にご支援をいただきました。また、本ソフトウェアの開発の初期には、宮澤富雄先生(埼玉県開業)の Excel によるスクリーニングモデルを参考にさせていただきました。心より厚く御礼申し上げます。

青木孝文、伊藤康一、青山章一郎

1.1. 対応 OS

Windows XP SP3、7 日本語版

注意

本書では、Windows XP の画面を使用して説明します。Windows 7 をご使用の場合、適宜読み替えてご利用下さい。

1.2. Dental Finder でできること

Dental Finder では以下のことができます。

(1) 歯科情報の管理

Dental Finder の操作で死後データ、および生前データの追加、修正、削除ができるほか、CSV フォーマットのファイルからのインポートができます。
また、複数のプロジェクトを切り替えて管理することもできます。

(2) データの検索と表示

身元の特定に有力な死後データと生前データの組合せを検索できます。検索結果は画面に表示するほか、印刷、CSV フォーマットのファイル出力もできます。

(3) 検索情報の変更

検索結果として表示される情報の算出に使用される値、検索条件などを変更できます。変更した情報はプロジェクト毎に管理できます。

インフォメーション

歯科情報にはブリッジ有無が含まれます。

現在のバージョンの Dental Finder はブリッジの検索機能を備えていませんが、Dental Finder から出力したエクスポートファイルを使用して、外部プログラムにてブリッジを考慮した検索を行うことができます。

将来は Dental Finder へブリッジ検索機能が追加される予定です。

2. システムのインストールとアンインストール

2.1. Dental Finder のインストール

Dental Finder をインストールするには、インストール CD を使用します。

- (1) インストールする PC にインストール CD を挿入します。インストーラは自動的に起動されます。



インフォメーション

自動的に起動されなかった場合は、インストール CD 内の Setup.exe を実行して下さい。

- (2) インストール開始画面が表示されます。



[次へ]ボタンをクリックします。

(3) ユーザー情報入力画面が表示されます。



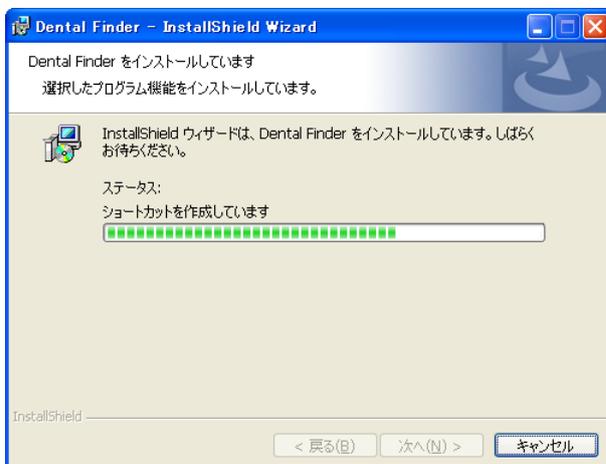
[ユーザー名]テキストボックス、[所属]テキストボックスを入力して[次へ]ボタンをクリックします。

(4) インストール設定確認画面が表示されます。



[インストール]ボタンをクリックして、インストールを開始します。

(5) インストールステータス表示画面が表示されます。



インストールが完了するまで少し待ちます。

(6) インストール完了画面が表示されます。



[完了]ボタンをクリックして、インストールを完了します。

2.2. Dental Finder のアンインストール

Dental Finder をアンインストールするには、コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]を使用します。

(1) [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。



(2) コントロールパネルが表示されます。



[プログラムの追加と削除]を選択します。

(3) プログラムの追加と削除画面が表示されます。



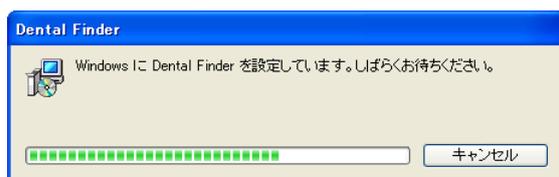
一覧から[Dental Finder]を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

(4) アンインストール実行の確認メッセージボックスが表示されます。



[はい]ボタンをクリックします。

(5) アンインストールステータス表示画面が表示されます。



(6) アンインストールが完了すると、プログラムの追加と削除画面から Dental Finder が削除されます。

3. 起動と終了

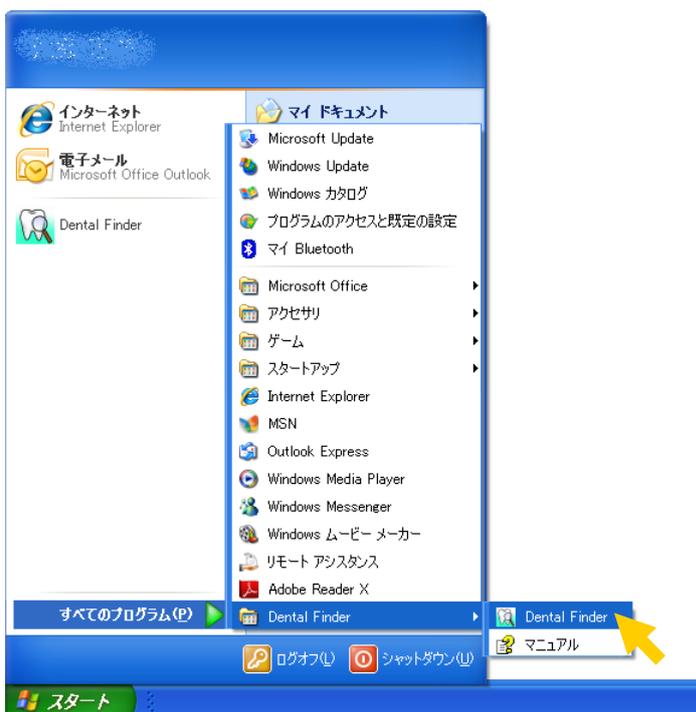
3.1. 起動方法

Dental Finder を起動するには、以下の 3 種類の方法があります。

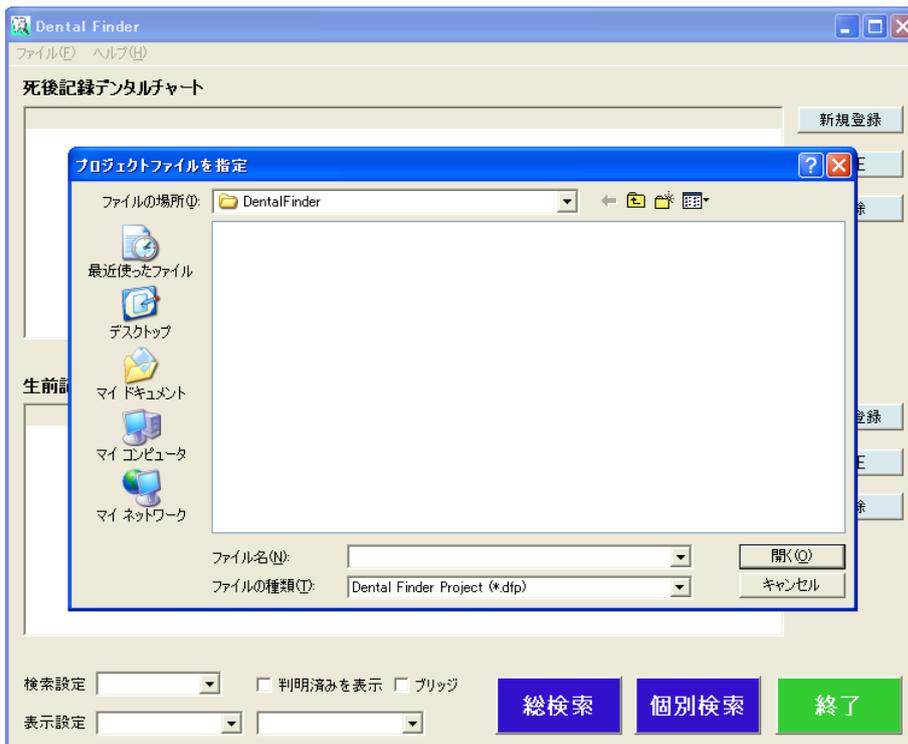
- [スタート]メニューの[すべてのプログラム]から起動
- デスクトップのショートカットから起動
- データファイルをダブルクリックして起動

3.1.1. [スタート]メニューの[すべてのプログラム]から起動

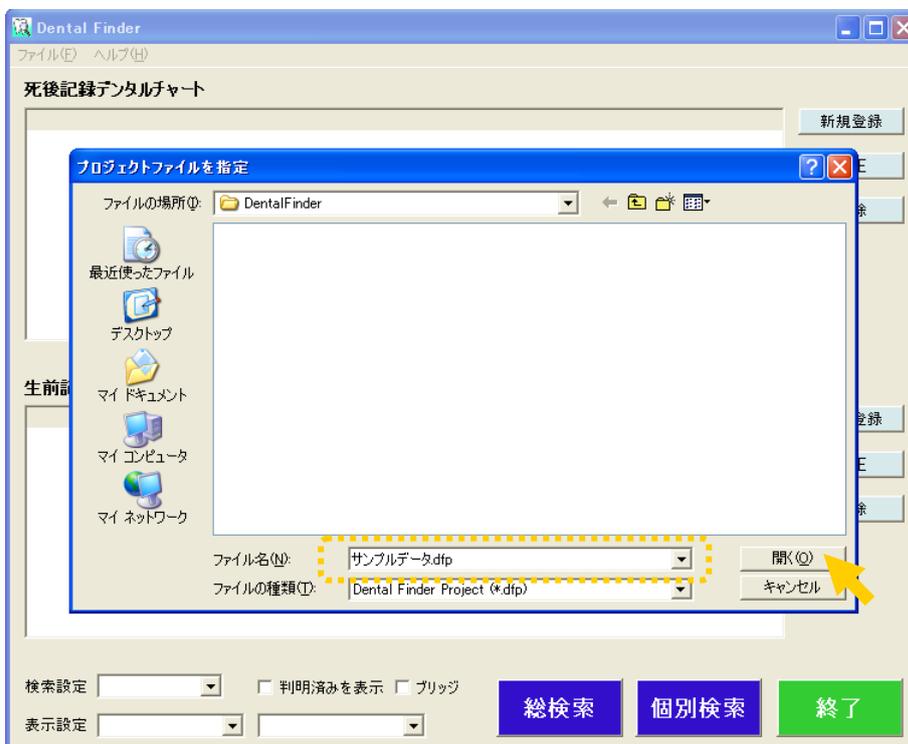
- (1) [スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[Dental Finder]→[Dental Finder]を順に選択します。



(2) ファイルセレクションが表示されます。



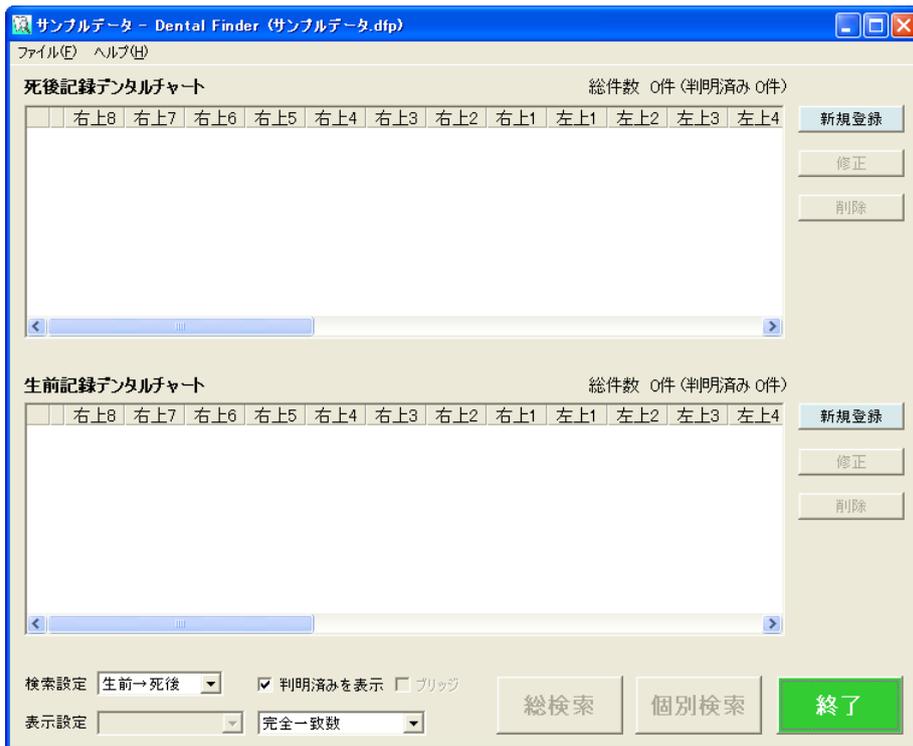
(3) [ファイル名]テキストボックスにプロジェクトファイル名を入力し、[開く]ボタンをクリックします。



インフォメーション

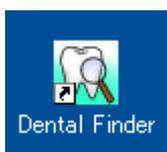
存在しないファイル名を入力した場合は、新規のプロジェクトが作成されます。

(4) メイン画面が表示されます。

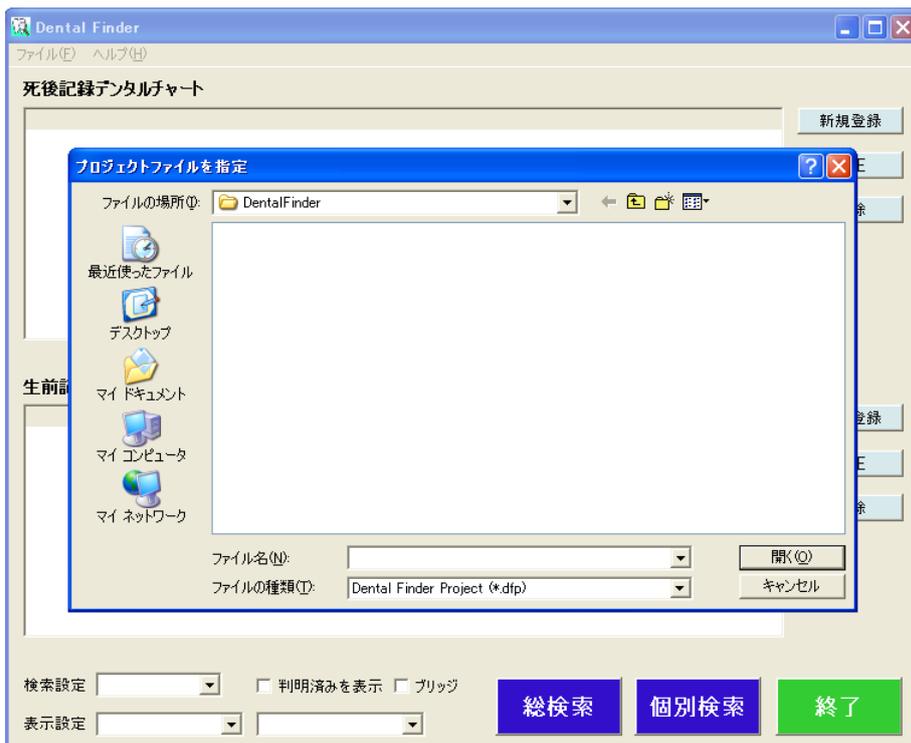


3.1.2. デスクトップのショートカットから起動

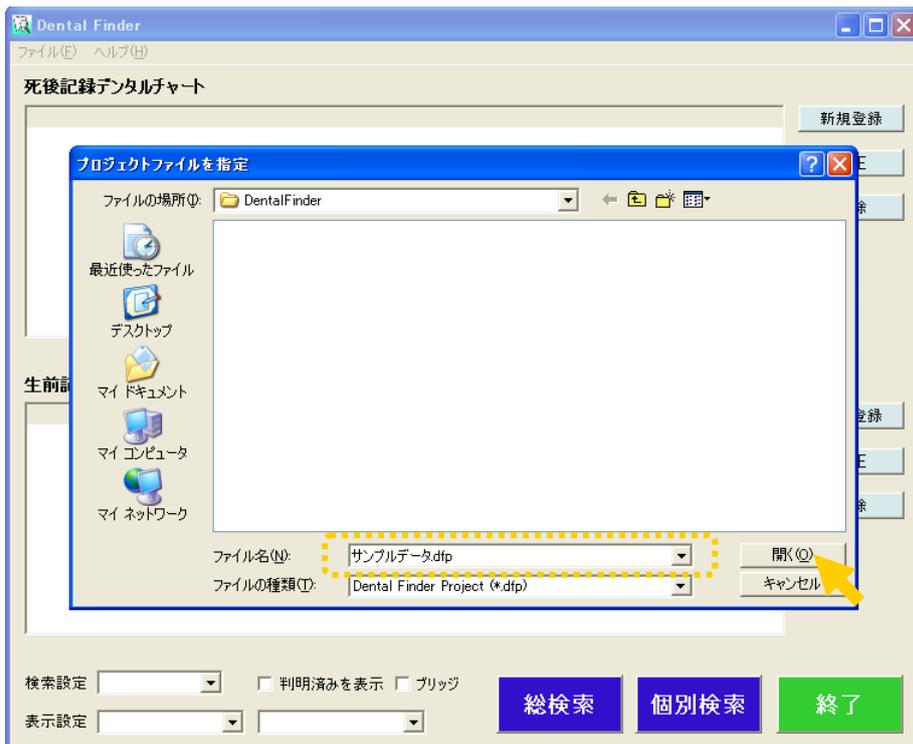
(1) デスクトップにある Dental Finder のアイコンをダブルクリックします。



(2) ファイルセレクションが表示されます。



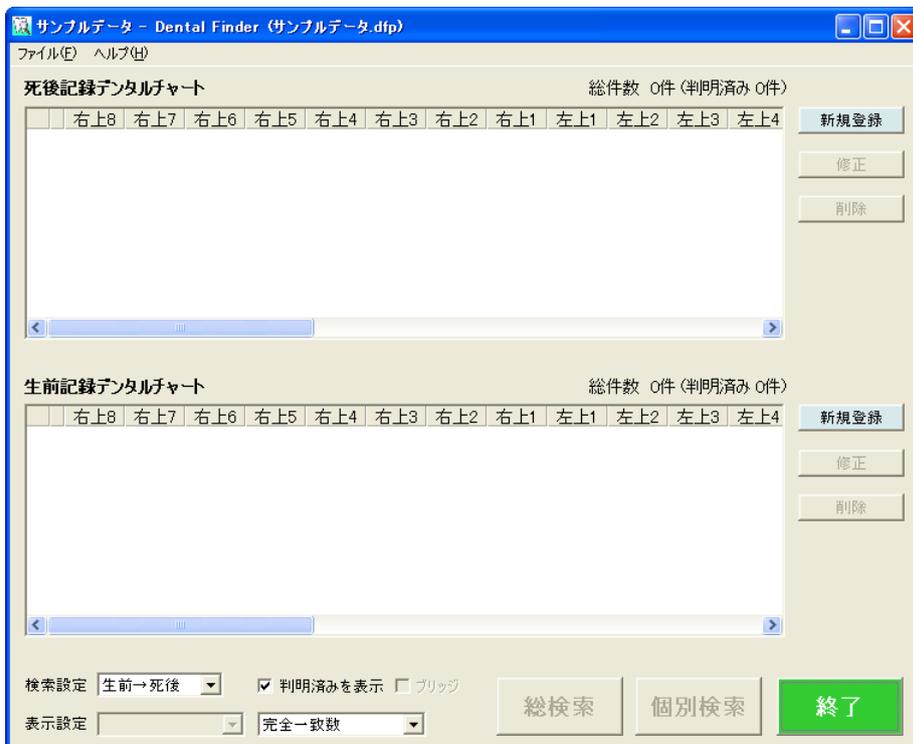
(3) [ファイル名]テキストボックスにプロジェクトファイル名を入力し、[開く]ボタンをクリックします。



インフォメーション

存在しないファイル名を入力した場合は、新規のプロジェクトが作成されます。

(4) メイン画面が表示されます。

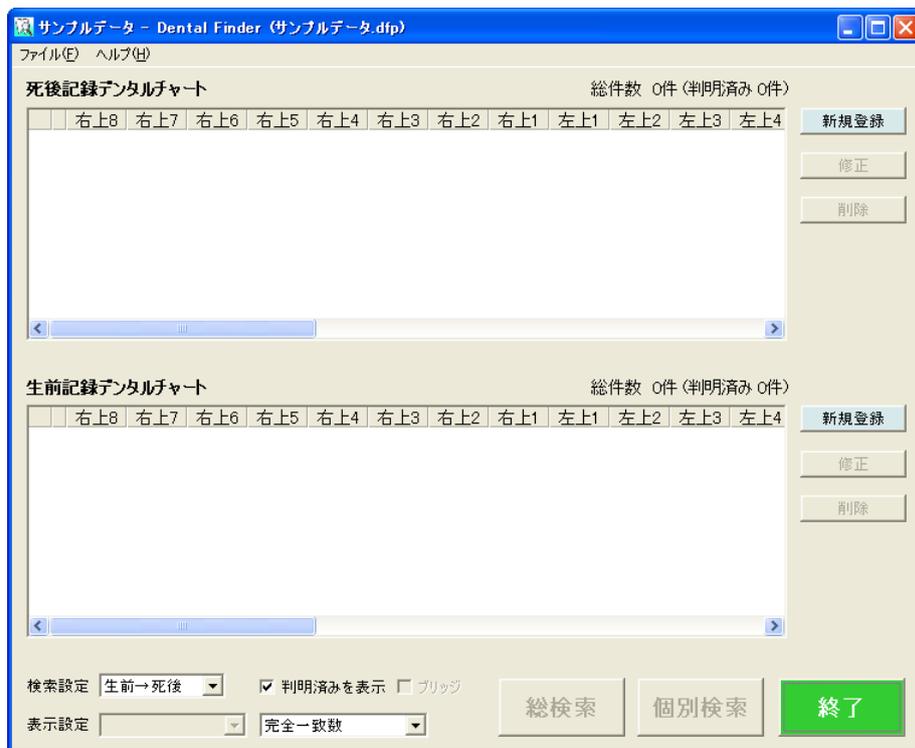


3.1.3. データファイルをダブルクリックして起動

(1) Dental Finder プロジェクトファイルをダブルクリックします。



(2) メイン画面が表示されます。



3.2. 終了方法

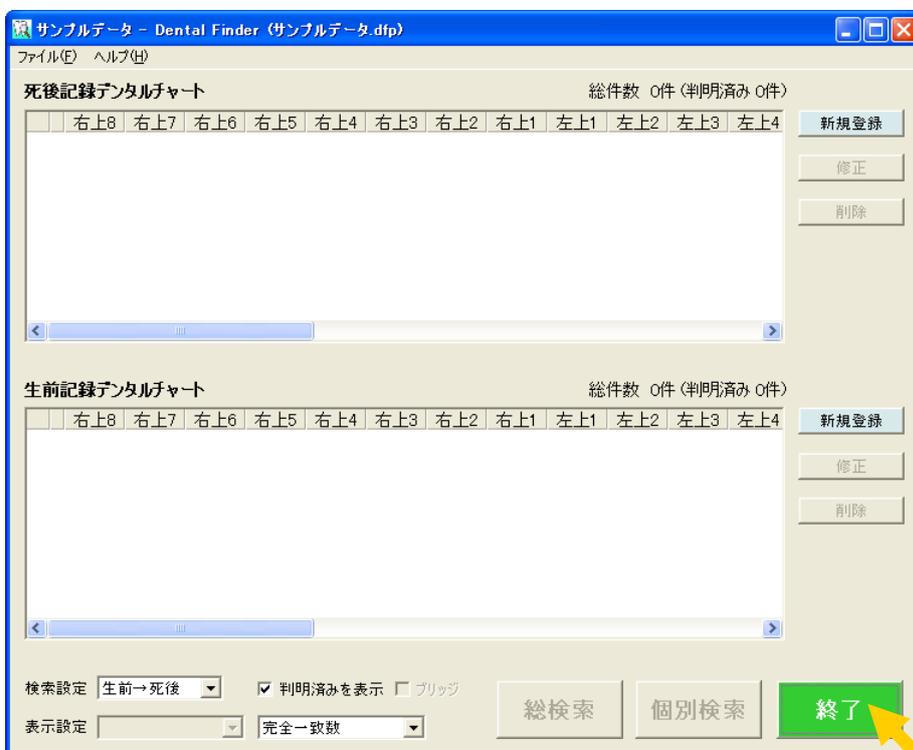
Dental Finder を終了するには、以下の 4 種類の方法があります。

- [終了]ボタンから終了
- [ファイル]メニューの[終了]から終了
- タイトルバーの[閉じる]ボタンから終了
- タイトルバーの[閉じる]メニューから終了

終了を指定すると、Dental Finder プロジェクトファイルへの変更有無によってその後の操作が異なります。

3.2.1. [終了]ボタンから終了

(1) メイン画面の[終了]ボタンをクリックします。



Dental Finder プロジェクトファイルへの変更有無によって操作が異なります。変更がない場合は(2)へ、変更がある場合は(3)へ進みます。

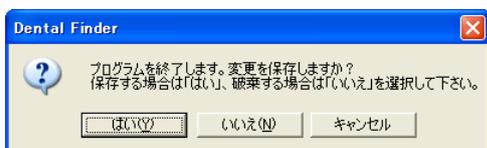
- (2) Dental Finder プロジェクトファイルへの変更がない場合
(2-1) Dental Finder 終了の確認メッセージボックスが表示されます。



(2-2) Dental Finder を終了する場合は[はい]ボタンを、終了せずに操作を続ける場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

(3) Dental Finder プロジェクトファイルへの変更がある場合

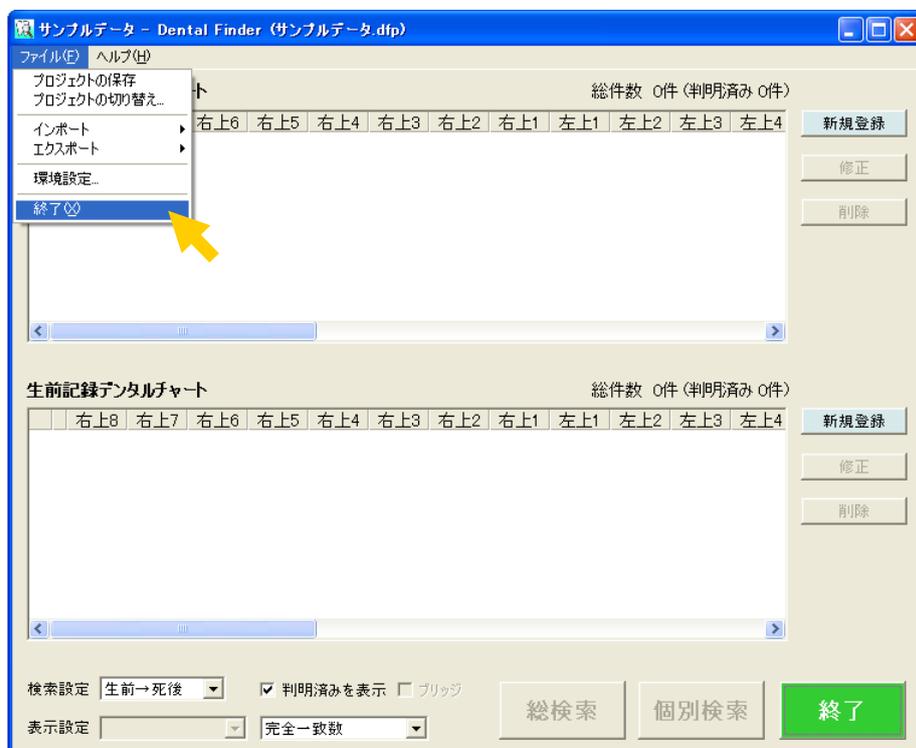
(3-1) Dental Finder 終了の確認メッセージボックスが表示されます。



(3-2) 変更をプロジェクトファイルに保存して終了する場合は[はい]ボタンを、変更を破棄して終了する場合は[いいえ]ボタンを、終了せずに操作を続ける場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

3.2.2. [ファイル]メニューの[終了]から終了

(1) メイン画面の[ファイル]メニューから[終了]を選択します。



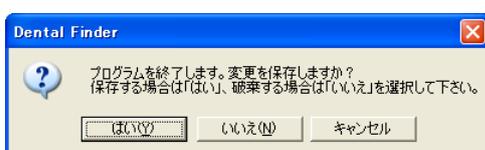
Dental Finder プロジェクトファイルへの変更有無によって操作が異なります。変更がない場合は(2)へ、変更がある場合は(3)へ進みます。

- (2) Dental Finder プロジェクトファイルへの変更がない場合
(2-1) Dental Finder 終了の確認メッセージボックスが表示されます。



(2-2) Dental Finder を終了する場合は[はい]ボタンを、終了せずに操作を続ける場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

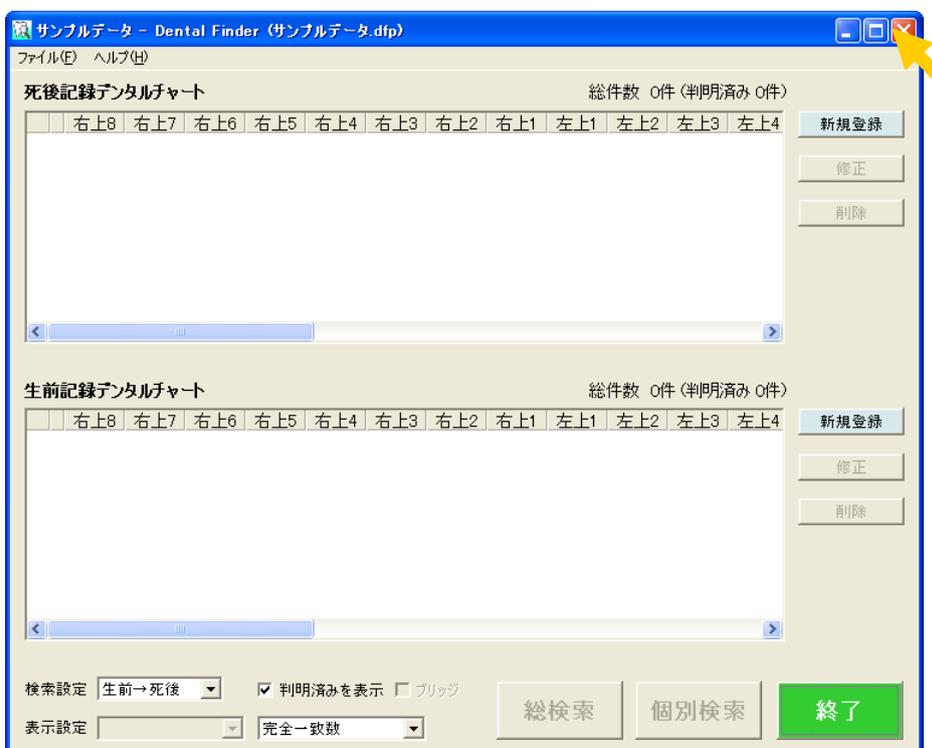
- (3) Dental Finder プロジェクトファイルへの変更がある場合
(3-1) Dental Finder 終了の確認メッセージボックスが表示されます。



(3-2) 変更をプロジェクトファイルに保存して終了する場合は[はい]ボタンを、変更を破棄して終了する場合は[いいえ]ボタンを、終了せずに操作を続ける場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

3.2.3. タイトルバーの[閉じる]ボタンから終了

- (1) メイン画面の右上にある[閉じる]ボタンをクリックします。



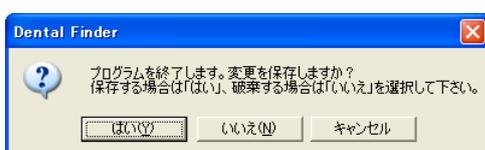
Dental Finder プロジェクトファイルへの変更有無によって操作が異なります。変更がない場合は(2)へ、変更がある場合は(3)へ進みます。

- (2) Dental Finder プロジェクトファイルへの変更がない場合
(2-1) Dental Finder 終了の確認メッセージボックスが表示されます。



(2-2) Dental Finder を終了する場合は[はい]ボタンを、終了せずに操作を続ける場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

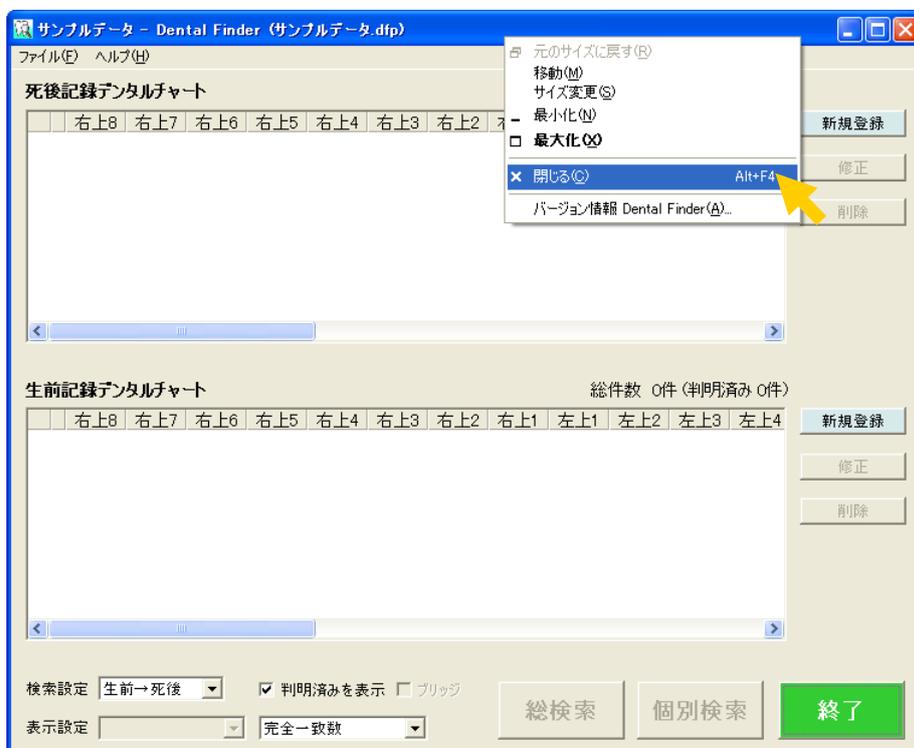
- (3) Dental Finder プロジェクトファイルへの変更がある場合
(3-1) Dental Finder 終了の確認メッセージボックスが表示されます。



(3-2) 変更をプロジェクトファイルに保存して終了する場合は[はい]ボタンを、変更を破棄して終了する場合は[いいえ]ボタンを、終了せずに操作を続ける場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

3.2.4. タイトルバーの[閉じる]メニューから終了

- (1) メイン画面のタイトルバーを右クリックします。



Dental Finder プロジェクトファイルへの変更有無によって操作が異なります。変更がない場合は(2)へ、変更がある場合は(3)へ進みます。

(2) Dental Finder プロジェクトファイルへの変更がない場合

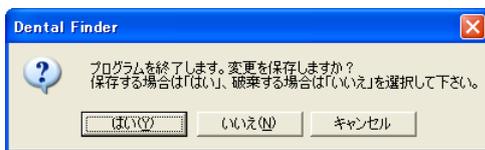
(2-1) Dental Finder 終了の確認メッセージボックスが表示されます。



(2-2) Dental Finder を終了する場合は[はい]ボタンを、終了せずに操作を続ける場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

(3) Dental Finder プロジェクトファイルへの変更がある場合

(3-1) Dental Finder 終了の確認メッセージボックスが表示されます。



(3-2) 変更をプロジェクトファイルに保存して終了する場合は[はい]ボタンを、変更を破棄して終了する場合は[いいえ]ボタンを、終了せずに操作を続ける場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

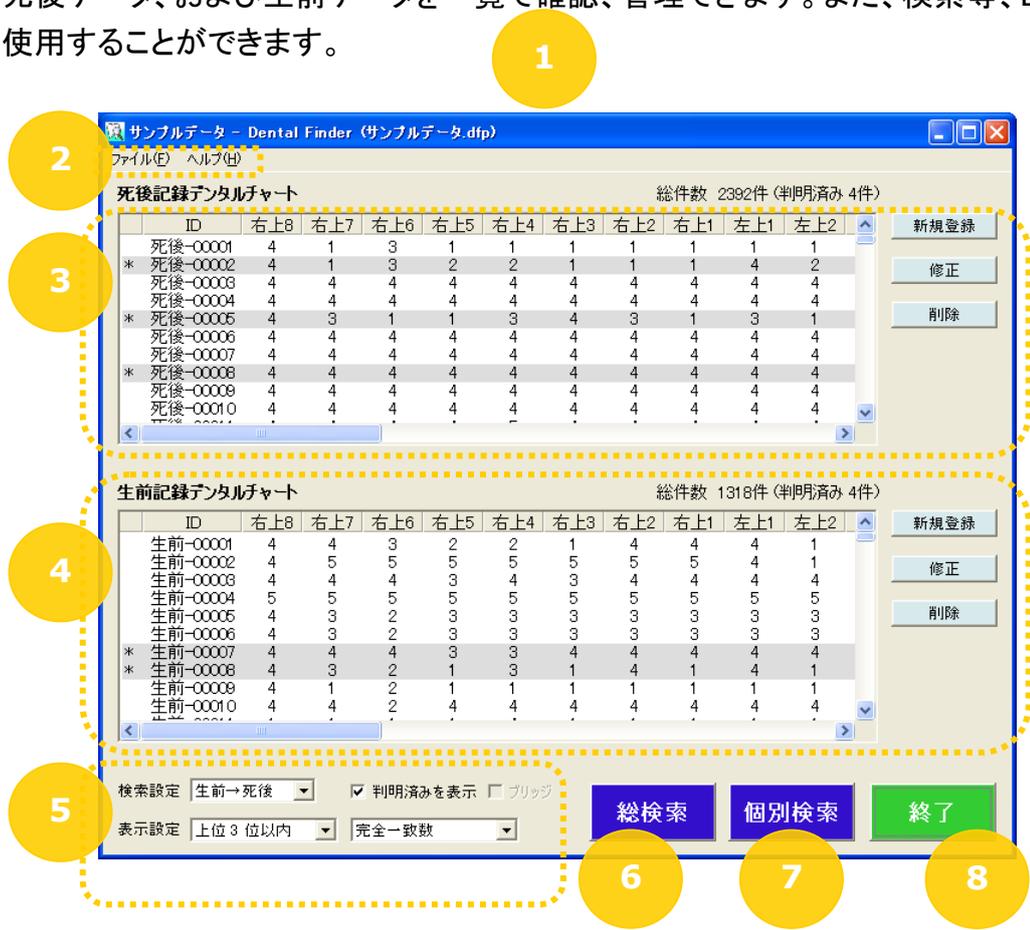
4. Dental Finder の画面について

Dental Finder には以下の 7 種類の画面があります。

4.1. メイン画面

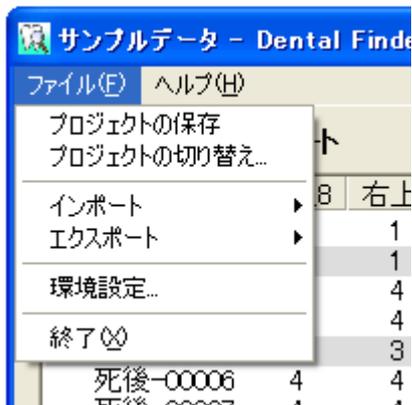
Dental Finder のメインとなる画面です。

死後データ、および生前データを一覧で確認、管理できます。また、検索等、Dental Finder の機能を使用することができます。



項目	内容
1	画面タイトル 「プロジェクト名 - Dental Finder (ファイル名)」を表示します。
2	メニュー 「4.1.1 メニュー」参照。
3	死後データ操作エリア 「4.1.2 死後/生前データ操作エリア」参照。
4	生前データ操作エリア
5	検索条件設定エリア 「4.1.3 検索条件設定エリア」参照。
6	[総検索]ボタン 総検索を実行し、総検索画面に検索結果を表示します。
7	[個別検索]ボタン 個別検索を実行し、個別検索画面に検索結果を表示します。
8	[終了]ボタン Dental Finder を終了します。

4.1.1. メニュー



項目	内容
[プロジェクトの保存]	プロジェクトファイルに現在までの変更を反映し、保存します。
[プロジェクトの切り替え...]	現在開いているプロジェクトファイルを終了し、別のプロジェクトファイルを開きます。
[インポート]	[死後データ...] CSVフォーマットのファイルを読み込み、死後データへ登録します。
	[生前データ...] CSVフォーマットのファイルを読み込み、生前データへ登録します。
[エクスポート]	[死後データ...] 登録されている死後データを CSV フォーマットのファイルへ出力します。
	[生前データ...] 登録されている生前データを CSV フォーマットのファイルへ出力します。
[環境設定...]	環境設定画面を表示します。
[終了]	Dental Finder を終了します。



項目	内容
[Dental Finder のバージョン情報]	バージョン情報画面を表示します。

4.1.2. 死後/生前データ操作エリア

インフォメーション

死後データ操作エリアを使用して説明します。死後データ操作エリア、および生前データ操作エリアとも機能は同じです。



項目	内容
1 データ件数	登録されているデータの総件数、および判明済みデータの件数を表示します。
2 死後記録デンタルチャート一覧 生前記録デンタルチャート一覧	登録されているデータのIDとデンタルチャートを表示します。 判明済みデータは、行の先頭に"*"(アスタリスク)と、行を色付けして表示します。 判明済みデータの行をダブルクリックすると、判明データ比較画面を表示します。
3 [新規登録]ボタン	登録修正画面を表示します。
4 [修正]ボタン	登録修正画面を表示します。
5 [削除]ボタン	一覧で指定したデータを削除します。

4.1.3. 検索条件設定エリア



項目	内容
1 [検索方向指定]コンボボックス	死後データと生前データのどちらを検索元データとするかを指定します。 [生前→死後]、または[死後→生前]を選択できます。
2 [判明済みを表示]チェックボックス	検索結果に判明済みデータを含めるかを指定しま

		す。 ON(含める)、OFF(含めない)を選択できます。
3	[表示量指定]コンボボックス	検索先データをどのくらい表示するかを指定します。 [上位 1 位以内]から検索先データの検索数分選択できます。なお、検索先データが 50 件より多い場合、[上位 50 位以内]まで選択できます。
4	[表示順指定]コンボボックス	検索先データをどの順番で表示するかを指定します。 [完全一致数]、[全修復・欠損一致数]、[矛盾なし一致数]、[スコア]のいずれかを選択できます。

4.2. 登録修正画面

個体識別情報の登録修正に使用する画面です。

死後データ、および生前データ 1 件分の新規登録や修正ができます。



項目	内容
1 画面タイトル	登録修正画面を表示した操作によって以下のいずれかを表示します。 [死後]新規作成 [死後]修正

		[生前]新規作成 [生前]修正
2	個体識別情報設定エリア	「4.2.1 個体識別情報設定エリア」参照。
3	デンタルチャート設定エリア	「4.2.2 デンタルチャート設定エリア」参照。
4	[分類基準]ボタン	デンタルチャートの1から5の分類基準を表示します。分類基準画面を表示している間も、登録修正画面の操作が可能です。
5	一括設定エリア	「4.2.3 一括設定エリア」参照。
6	[保存]ボタン	変更を保存し、登録修正画面を終了します。
7	[キャンセル]ボタン	変更を破棄し、登録修正画面を終了します。

4.2.1. 個体識別情報設定エリア



項目	内容
1 ID [上位部]コンボボックス [下位部]テキストボックス	個体識別情報のIDを指定します。 上位部は他の個体識別情報で登録された上位部を選択することもできます。 下位部は、5桁以内の数値で指定します。5桁より少ない場合、右詰5桁(あまりは"0")で登録します。
2 [性別]トグルボタン	性別を指定します。
3 [年齢]コンボボックス	年齢を指定します。 [0~9才]、[10代]、[20代]、[30代]、[40代]、[50代]、[60代]、[70代]、[80代]、[90代]、[100才以上]のいずれかを選択できます。
4 [No.]スタティックテキスト	プログラム内部で付与した登録番号を、右詰5桁(あまりは"0")で表示します。 
5 [場所]コンボボックス	発見場所を指定します。 死後データの新規登録、および修正の場合のみ入力できます。他の個体識別情報で登録された場所を選択することもできます。省略可。

6	[摘要]テキストボックス	摘要を指定します。 改行を含む複数行指定できます。省略可。
7	[氏名]テキストボックス	氏名を指定します。 生前データの新規登録、および修正の場合のみ入力できます。省略可。
8	[登録日]スタティックテキスト	新規登録の場合は現在の、修正の場合はデータを登録した日付を表示します。 月、および日は右詰 2 桁(あまりは"0")で表示します。
9	[判別状態]コンボボックス	身元判別状態を指定します。 [判明していない]、[デンタルチャートで判明]、[他の情報で判明]のいずれかを選択できます。
10	判明 ID	対応する判明 ID を指定します。 死後データの場合は生前データの、生前データの場合は死後データの ID を選択できます。[判別状態]コンボボックスが[デンタルチャートで判明]、または[他の情報で判明]のときに指定できます。省略可。
	[上位部]コンボボックス	
	[下位部]コンボボックス	

インフォメーション

No.と登録日は変更できません。

死後データの場合は[氏名]テキストボックス、生前データの場合は[場所]コンボボックスを操作できません。また、修正の場合は ID を操作できません。

4.2.2. デンタルチャート設定エリア

インフォメーション

デンタルチャート設定エリアのうち、右上部分を使用して説明します。右上、右下、左上、左下とも機能は同じです。



	項目	内容
1	[ブリッジ]チェックボックス	歯毎のブリッジ有無を指定します。 ON(ブリッジあり)、または OFF(ブリッジなし)を選択できます。
2	[デンタルチャート]トグルボタン	歯毎のデンタルチャートを指定します。 [デンタルチャート]テキストボックスの設定を変更すると、それに合わせてトグルボタンの選択位置も変化します。
3	[デンタルチャート]テキストボックス	歯毎のデンタルチャートを指定します。 1 から 5 の数値で指定します。 [デンタルチャート]トグルボタンの設定を変更すると、それに合わせてテキストボックスの値も変化します。
4	[デンタルチャート]スタティックテキスト	歯毎のデンタルチャートを表示します。 [デンタルチャート]トグルボタン、および[デンタルチャート]テキストボックスの設定を変更すると、それに合わせてスタティックテキストの表示も変化します。
5	[歯番号]スタティックテキスト	歯の識別番号を表示します。 [ブリッジ]チェックボックスの設定を変更すると、それに合わせてスタティックテキストの表示も変化します。

4.2.3. 一括設定エリア

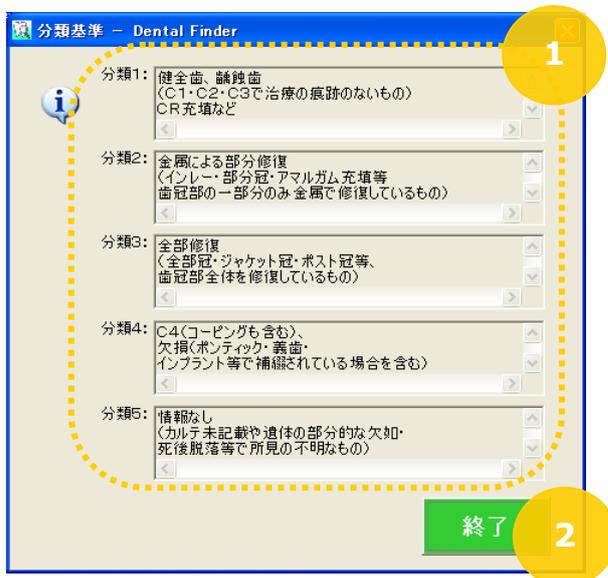


	項目	内容
1	[全て「健全歯」]ボタン	デンタルチャート設定エリアの全ての歯を「健全歯」(チャート番号 1)に設定します。
2	[全て「情報なし」]ボタン	デンタルチャート設定エリアの全ての歯を「情報なし」(チャート番号 5)に設定します。
3	[上顎全て「欠損」]ボタン	デンタルチャート設定エリアの右上、および左上の歯を「欠損」(チャート番号 4)に設定します。
4	[全て「欠損」]ボタン	デンタルチャート設定エリアの全ての歯を「欠損」(チャート番号 4)に設定します。
5	[下顎全て「欠損」]ボタン	デンタルチャート設定エリアの右下、および左下の歯を「欠損」(チャート番号 4)に設定します。

4.3. 分類基準画面

デンタルチャートを入力する際、1 から 5 の分類基準を確認する画面です。

デンタルチャート入力時に表示することで、分類を確認しながら入力することができます。



	項目	内容
1	分類基準表示エリア	デンタルチャートの 1 から 5 の分類基準を表示します。
2	[終了]ボタン	分類基準画面を終了します。

4.4. 総検索画面

身元の特定に有力な死後データと生前データの検索に使用する画面です。

検索元となるデータ全てに対し、表示順指定の順番に、表示量指定の分まで検索先データを表示することができます。また、特定の検索元データから個別検索の結果を表示することもできます。



	項目	内容
1	検索条件設定エリア	「4.1.3 検索条件設定エリア」参照。
2	総検索結果一覧	1 行に検索元データ 1 件に対する検索先データを、検索条件の設定をもとに表示します。 判明済みデータの場合、ID の前の列に"*"(アスタリスク)を表示します。 ID、および照合優先度の列のラベルをクリックすると、表示順を昇順、降順切り替えて表示します。 検索結果の行をダブルクリックすると、個別検索画面を表示します。
3	[ファイルに保存]ボタン	検索結果を CSV フォーマットのファイルへ出力します。
4	[印刷]ボタン	検索結果を印刷します。
5	[終了]ボタン	総検索画面を終了します。

4.5. 個別検索画面

身元の特定に有力な死後データと生前データの検索に使用する画面です。

検索元となるデータ 1 件に対し、表示順指定の順番に、表示量指定の分まで検索先データを表示することができます。



	項目	内容
1	[検索元 ID]コンボボックス	検索元データの ID を表示します。 メイン画面からの場合は先頭の ID を、総検索画面からの場合は指定した ID を表示します。
2	検索条件設定エリア	「4.1.3 検索条件設定エリア」参照。
3	個別検索結果一覧	1 行目に検索元データ、2 行目以降に検索先データを、検索条件の設定をもとに表示します。

		検索元データと検索先データで一致しているデンタルチャートに"*"(アスタリスク)と、色付けして表示します。
4	[ファイルに保存]ボタン	検索結果をCSVフォーマットのファイルへ出力します。
5	[印刷]ボタン	検索結果を印刷します。
6	[終了]ボタン	個別検索画面を終了します。

インフォメーション

総検索画面から起動した場合、個別検索画面を表示している間も総検索画面の操作が可能です。

注意

総検索画面から起動した場合、総検索画面、個別検索画面の[検索方向指定]コンボボックスは変更できません。

4.6. 環境設定画面

Dental Finder で使用されている設定値の変更に使用する画面です。

プロジェクト名や、検索結果として表示される情報の算出に使用される値を変更することができます。



項目	内容
1	[プロジェクト名]テキストボックス プロジェクト名を指定します。 ファイル名とは別に、異なる名前を指定できます。 1文字以上、100文字以下で指定できます。
2	[照合優先度の係数]テキストボッ 総検索結果に表示される照合優先度の算出に使

	クス	用する係数を指定します。 1 以上、65535 以下の整数を指定できます。
3	[スコアの重みづけ(死後→生前)] テキストボックス	[検索方向指定]コンボボックスの指定が[死後→生前]の場合に、検索結果に表示されるスコアの算出に使用する重みづけを指定します。 -1.0000 以上、1.0000 以下の実数、小数点以下 4 桁まで指定できます。
4	[スコアの重みづけ(生前→死後)] テキストボックス	[検索方向指定]コンボボックスの指定が[生前→死後]の場合に、検索結果に表示されるスコアの算出に使用する重みづけを指定します。 -1.0000 以上、1.0000 以下の実数、小数点以下 4 桁まで指定できます。
5	[設定]ボタン	変更を保存し、環境設定画面を終了します。
6	[キャンセル]ボタン	変更を破棄し、環境設定画面を終了します。

4.7. 判明データ比較画面

判明済みデータの組合せ比較に使用する画面です。

判明済みでペアとなっている死後データと生前データを並べて表示することができます。



	項目	内容
1	判明済みデータ一覧	判明済みでペアとなっている死後データと生前データの ID、性別、年齢、およびデンタルチャートを表示します。
2	[終了]ボタン	判明データ比較画面を終了します。

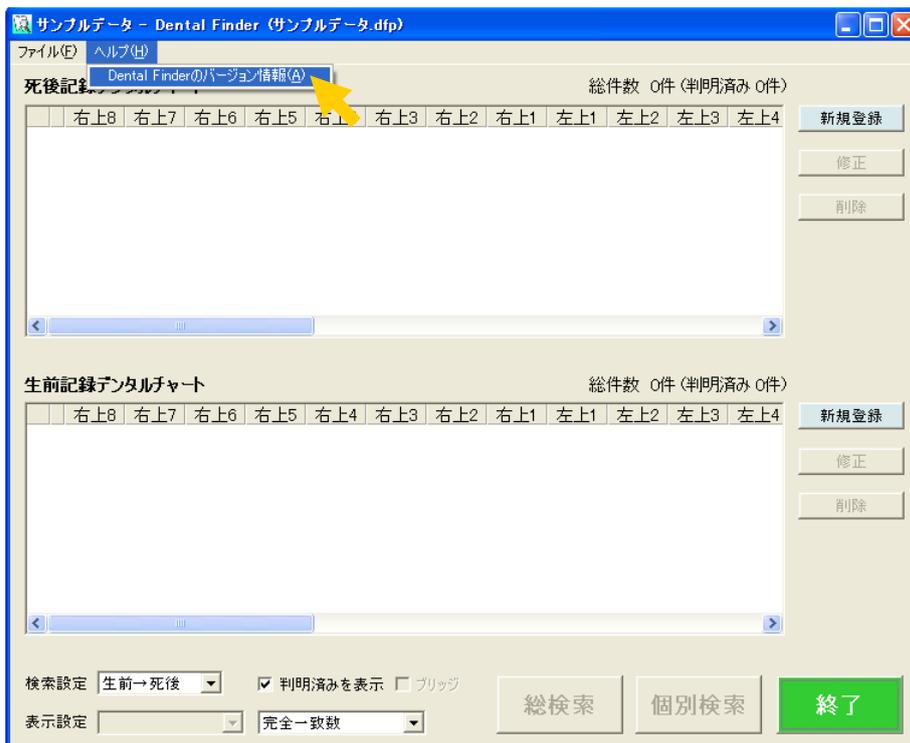
5. バージョンの確認方法

インストールされている Dental Finder のバージョン情報を確認するには、以下の 3 種類の方法があります。

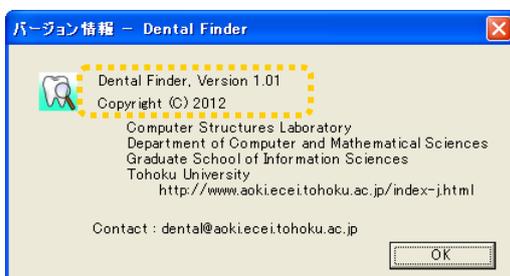
- Dental Finder の[ヘルプ]メニュー
- Dental Finder のウィンドウ・タイトル・メニュー
- コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]

5.1. Dental Finder の[ヘルプ]メニューから確認

(1) Dental Finder の[ヘルプ]メニューから[Dental Finder のバージョン情報]を選択します。

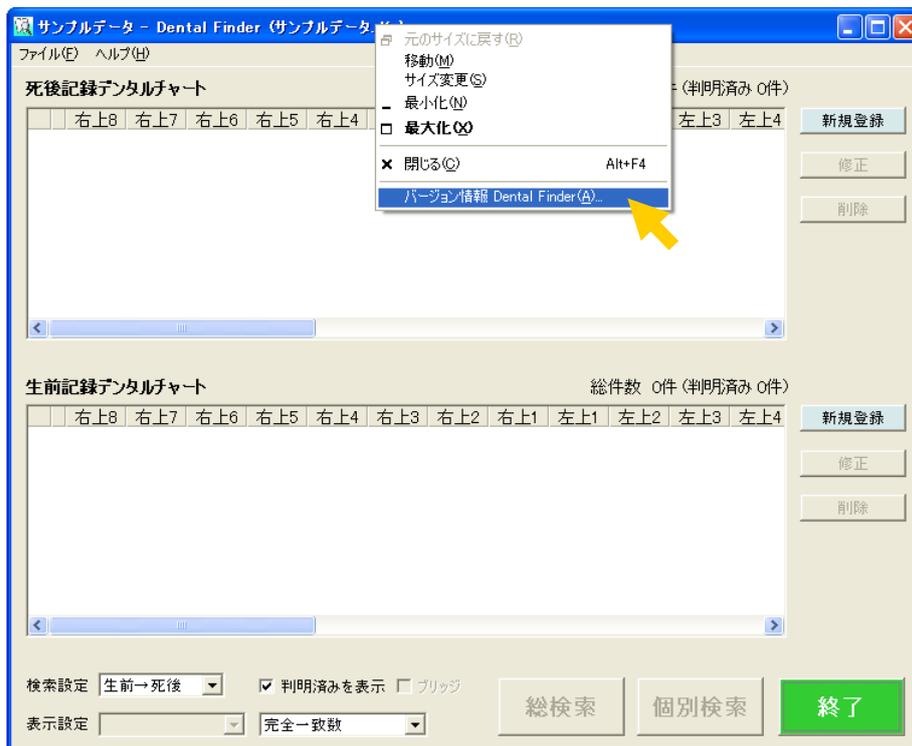


(2) Dental Finder のバージョン情報画面にバージョン情報が表示されます。



5.2. Dental Finder のウィンドウ・タイトル・メニューから確認

- (1) Dental Finder のウィンドウ・タイトルを右クリックし、[Dental Finder のバージョン情報]を選択します。



- (2) Dental Finder のバージョン情報が表示されます。



5.3. コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]から確認

(1) [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。

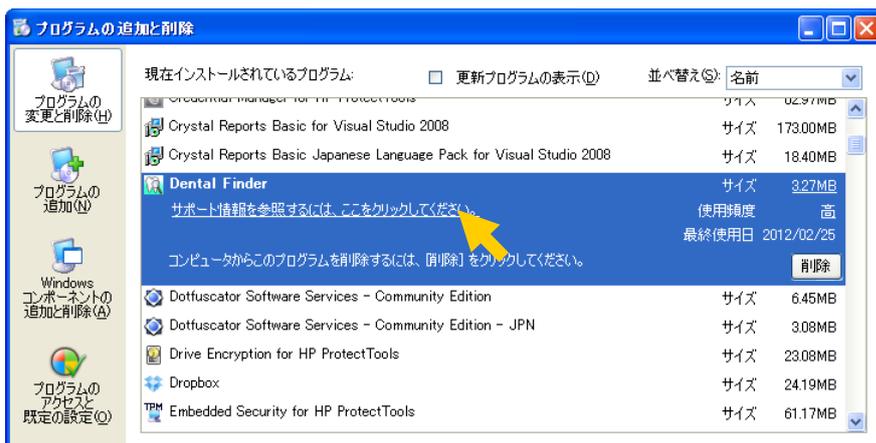


(1)コントロールパネルが表示されます。



[プログラムの追加と削除]を選択します。

(2) プログラムの追加と削除画面が表示されます。



一覧から[Dental Finder]を選択し、[サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。]を選択します。

(3) Dental Finder のサポート情報画面にバージョン情報が表示されます。



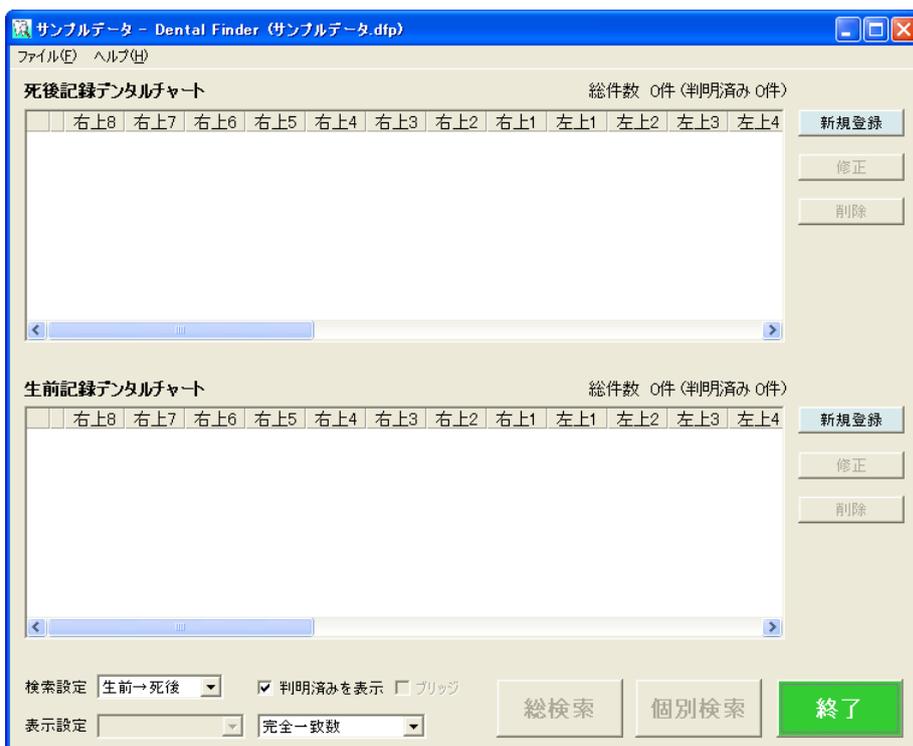
6. 歯科情報を管理する

死後データ、および生前データの追加、修正、削除は、Dental Finder の操作と、CSV フォーマットファイルによるインポートから行えます。

6.1. 死後データ

6.1.1. 新規に登録する

- (1) 死後記録デンタルチャート用の[新規登録]ボタンをクリックします。



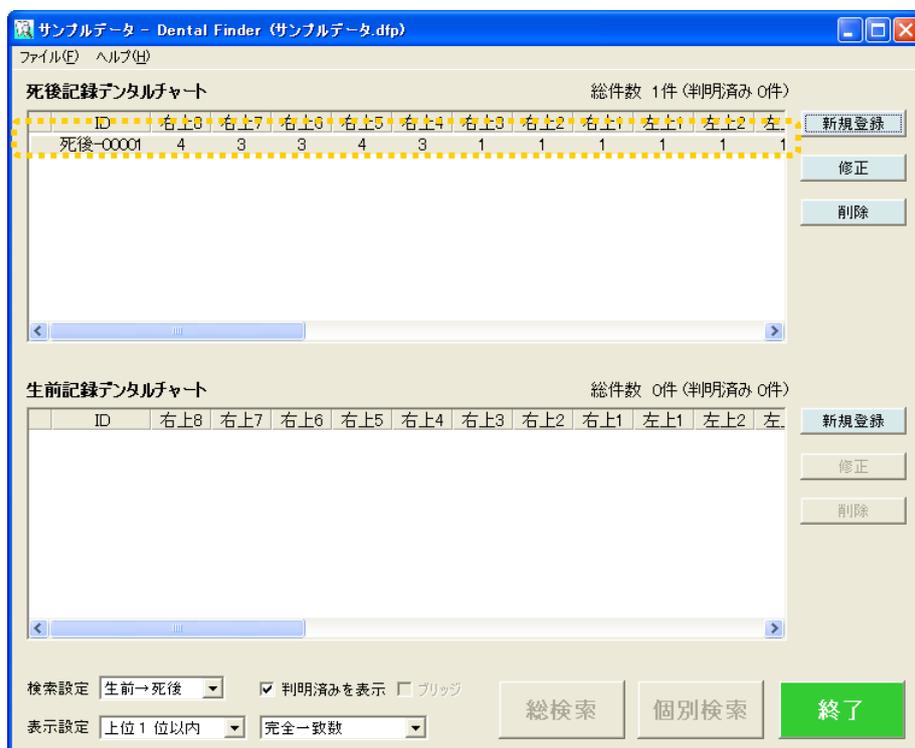
(2) 死後データ新規作成用の登録修正画面が表示されます。

(3) 必要事項を指定したあと、[保存]ボタンをクリックし、指定したデータを保存します。

インフォメーション

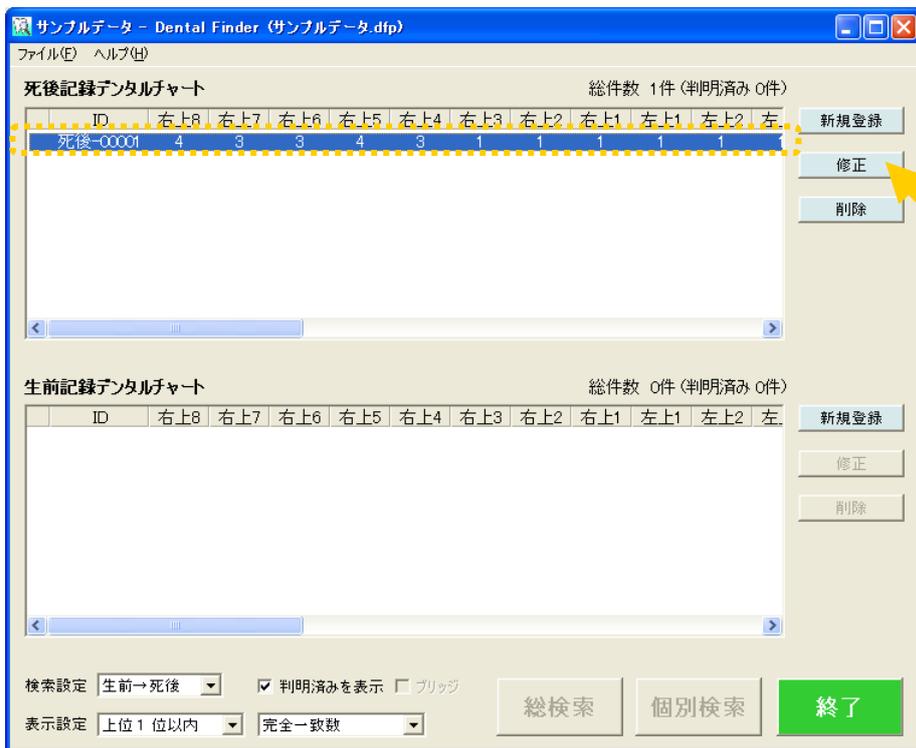
登録修正画面の詳細は「4.2 登録修正画面」を参照して下さい。

- (4) メイン画面に新規に登録したデータが表示されます。



6.1.2. 既に登録されているデータを修正する

- (1) 死後記録デンタルチャート一覧から修正したい1件を選択したあと、[修正]ボタンをクリックします。



- (2) 死後データ修正用の登録修正画面が表示されます。



(3) 必要事項を修正したあと、[保存]ボタンをクリックし、修正したデータを保存します。

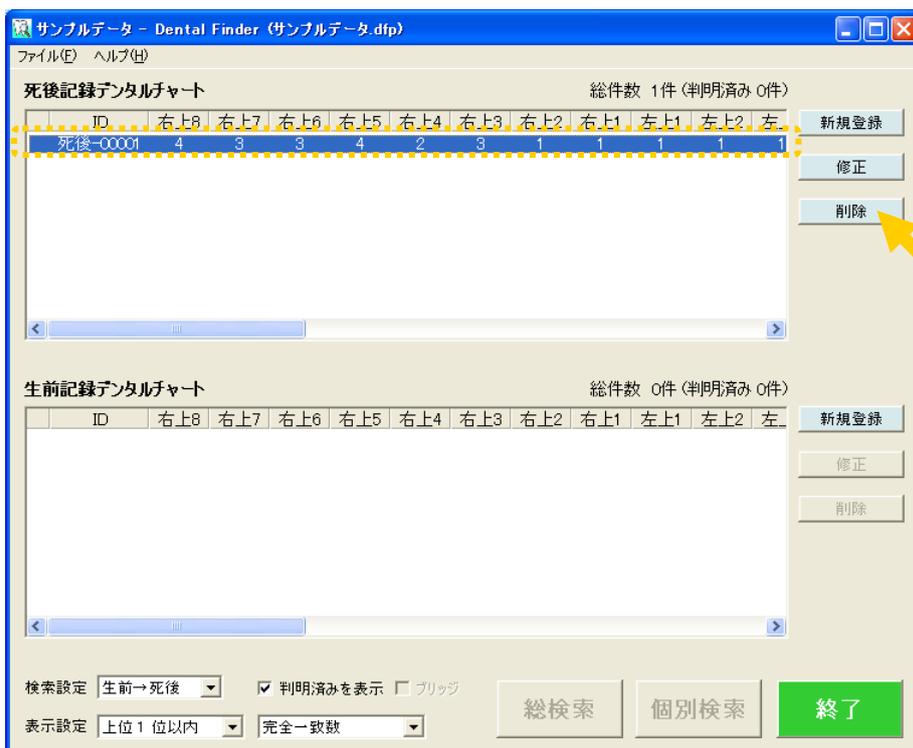
インフォメーション

ここでは右上 7、および右上 8 のデンタルチャートを修正した場合を例としています。登録修正画面の詳細は「4.2 登録修正画面」を参照して下さい。

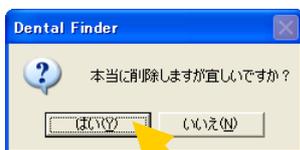
(4) メイン画面に修正したデータが表示されます。

6.1.3. 既に登録されているデータを削除する

- (1) 死後記録デンタルチャート一覧から削除したい 1 件を選択したあと、[削除]ボタンをクリックします。

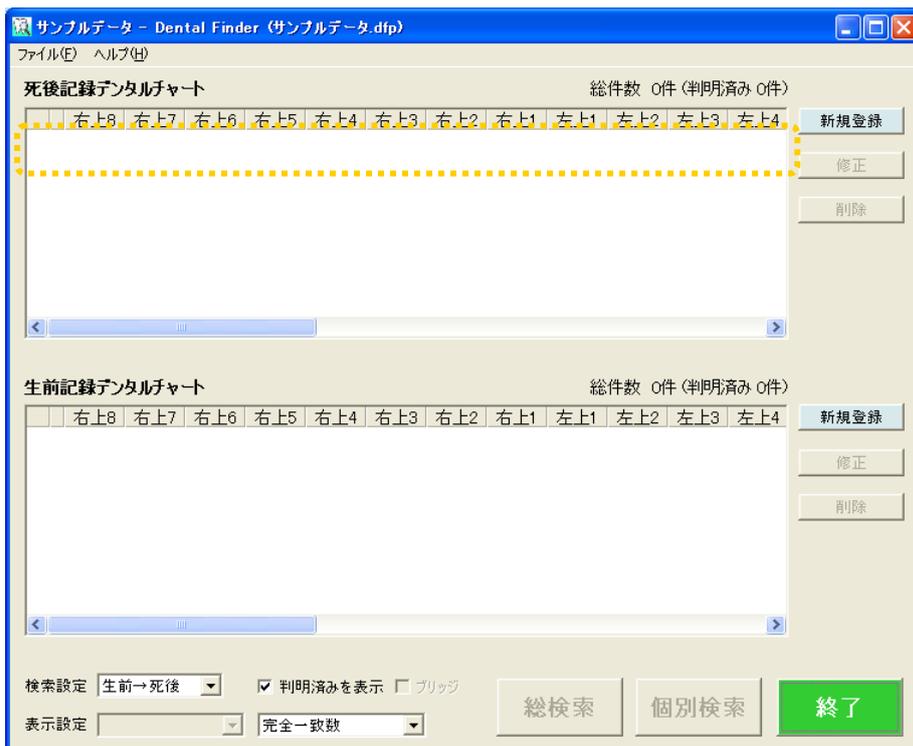


- (2) データ削除の確認メッセージボックスが表示されます。



[はい]ボタンをクリックします。

(3) メイン画面からデータが削除されます。

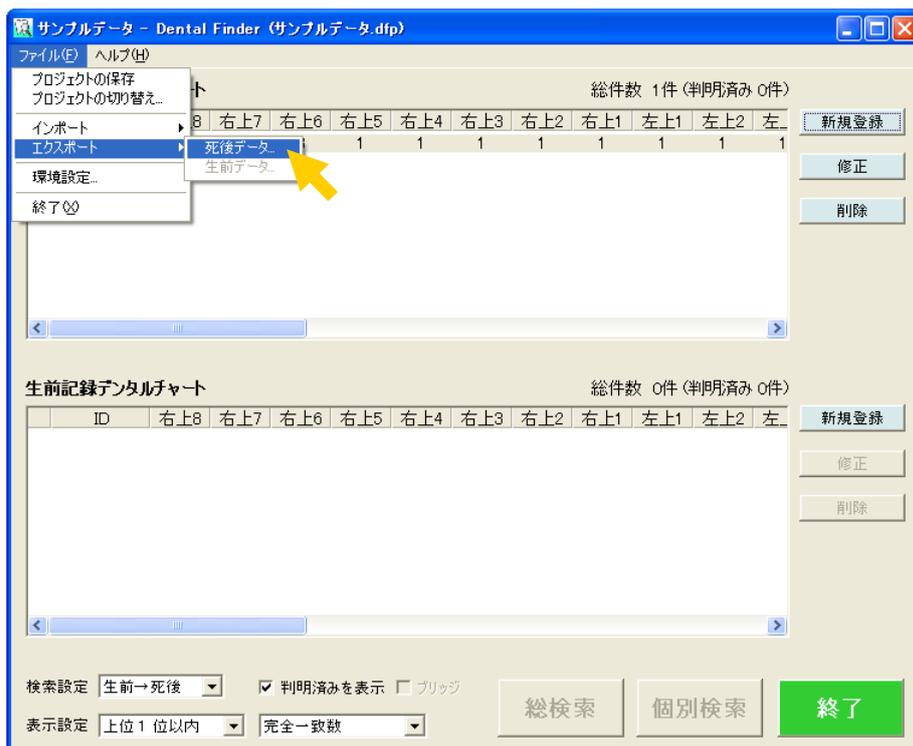


注意

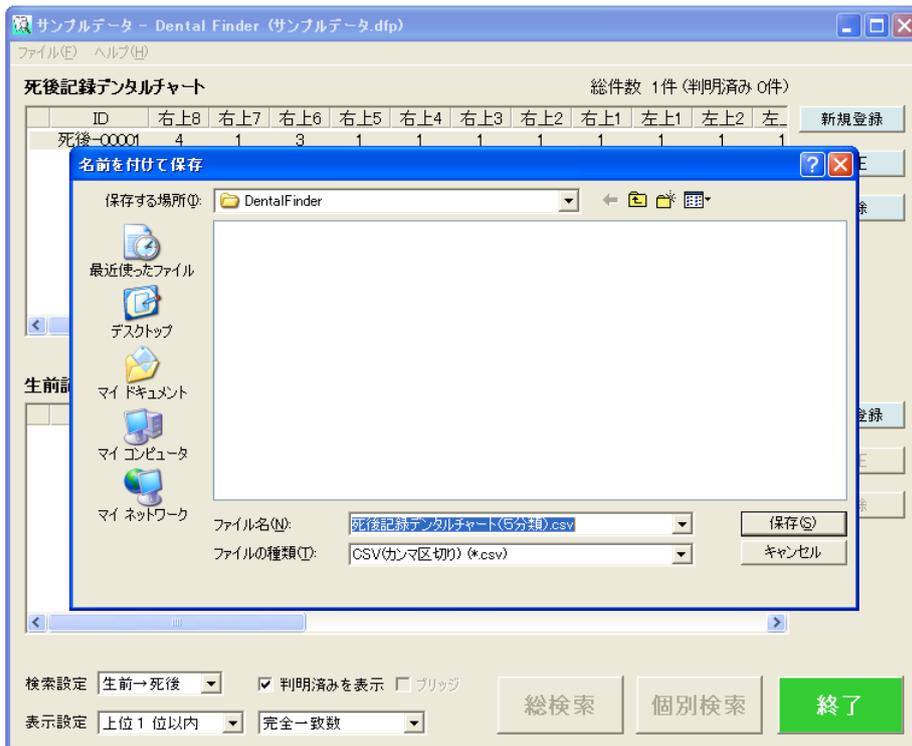
判明済みデータは削除できません。削除したい場合は、判別状態を[判明していない]に修正してから、再度削除して下さい。

6.1.4. 既に登録されているデータを外部ファイルへエクスポートする

(1) [ファイル]メニューから[エクスポート]→[死後データ]を選択します。



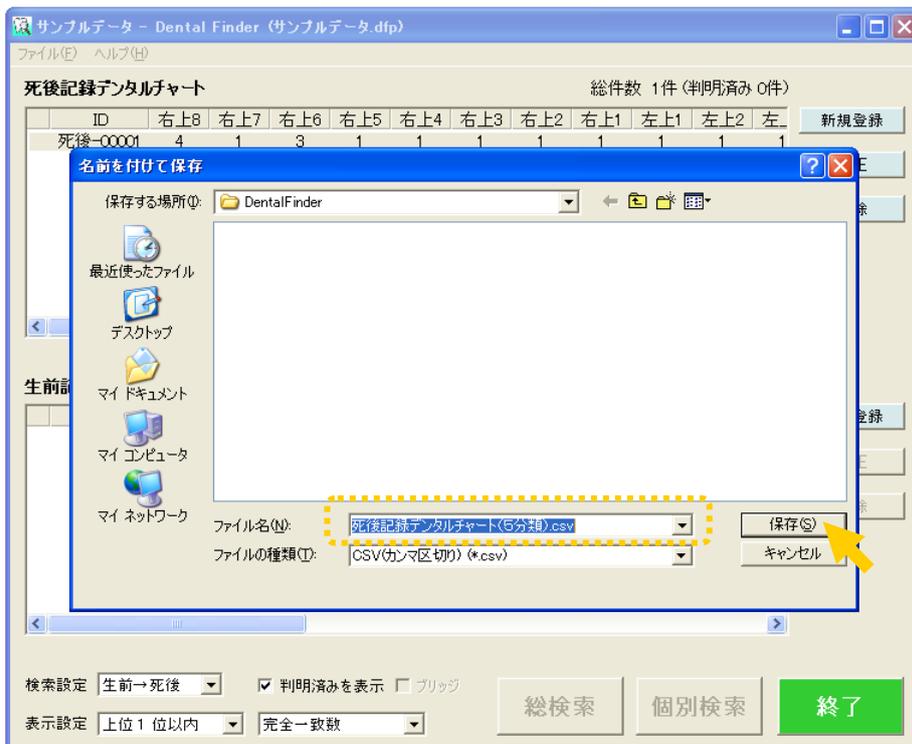
(2) ファイルセレクションが表示されます。



インフォメーション

[ファイル名]テキストボックスにはデフォルトのファイル名が設定されます。

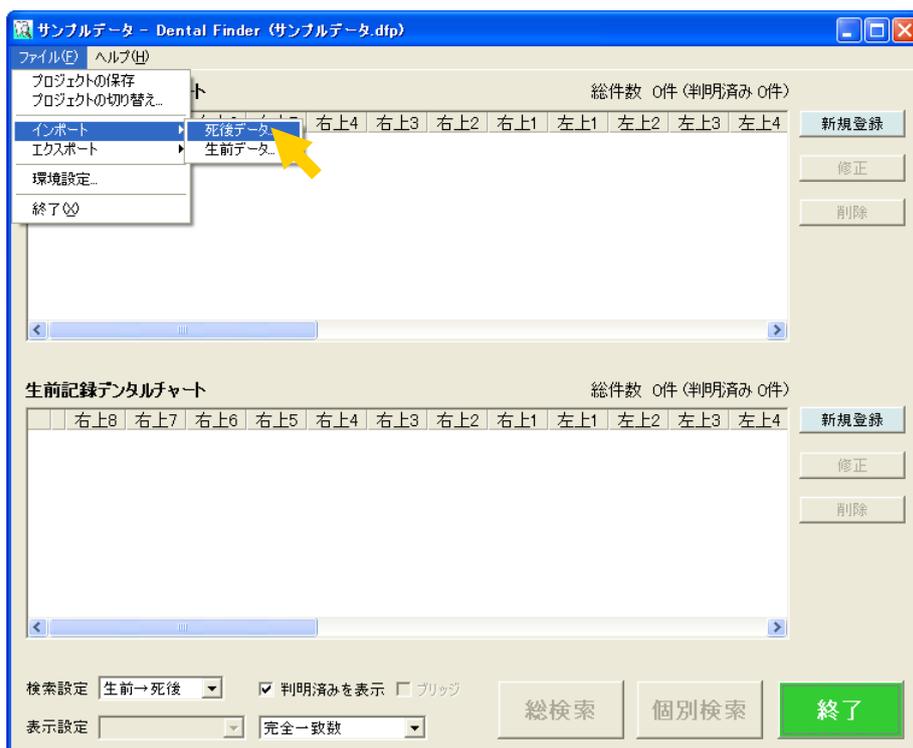
(3) [ファイル名]テキストボックスに出力ファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。



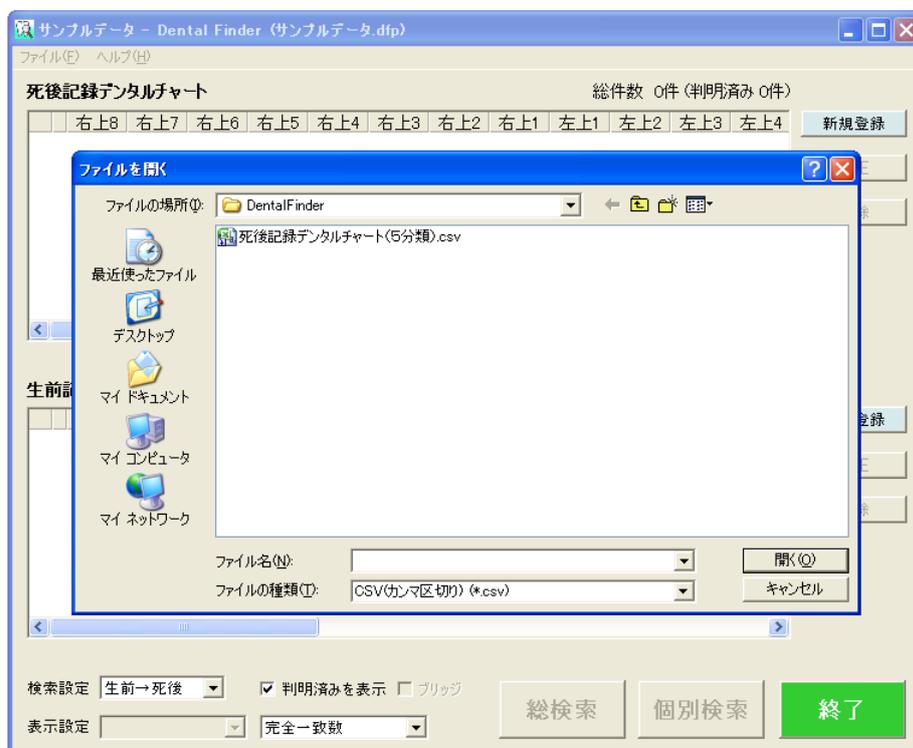
(4) 指定したファイルに死後データが CSV フォーマットで保存されます。

6.1.5. 外部ファイルからインポートする

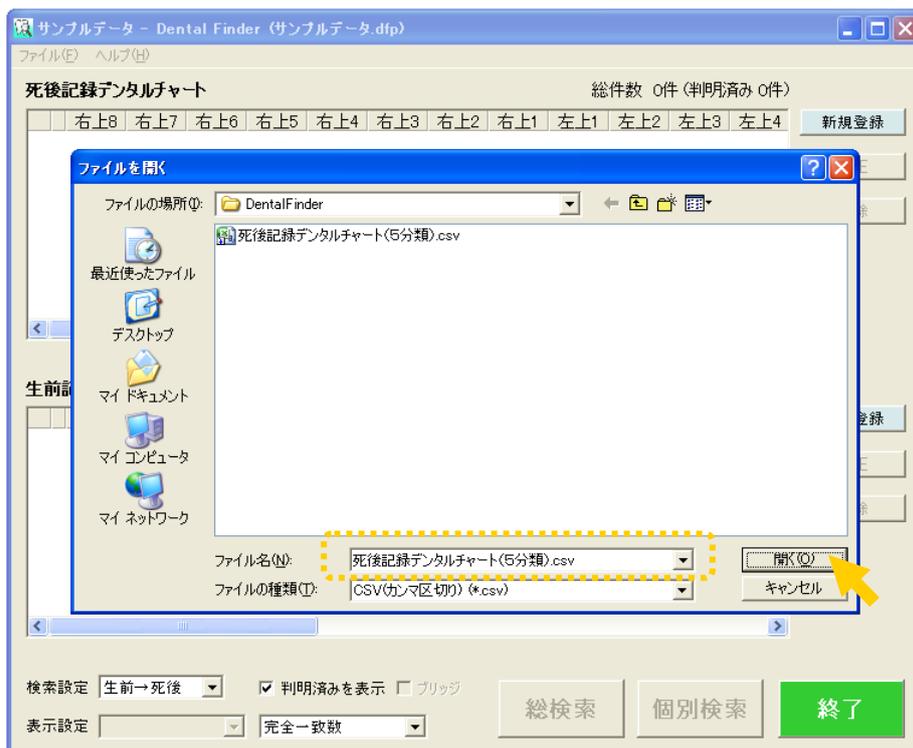
(1) [ファイル]メニューから[インポート]→[死後データ]を選択します。



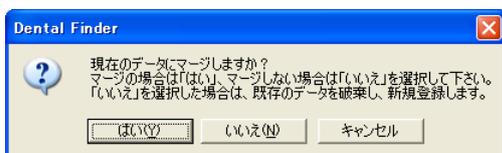
(2) ファイルセレクションが表示されます。



(3) [ファイル名]テキストボックスに入力ファイル名を入力し、[開く]ボタンをクリックします。



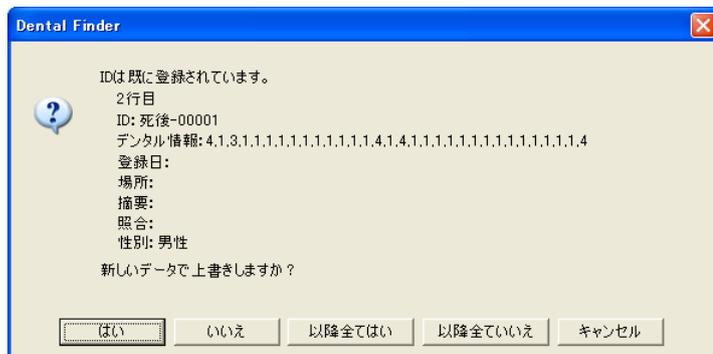
(4) インポート方法の確認メッセージボックスが表示されます。



既に登録されているデータに対してインポートファイルのデータを追加する場合は[はい]ボタンを、既に登録されているデータを破棄し、インポートファイルのデータを追加する場合は[いいえ]ボタンを、インポート処理を中断する場合は[キャンセル]をクリックします。

インフォメーション

インポートファイルに既に登録されているデータと同じIDのデータが含まれている場合、どちらのデータを有効とするかの確認メッセージボックスが表示されます。



(5) インポートが終了すると、インポートされた有効データの件数が表示されます。

(6) メイン画面にインポートしたデータが表示されます。



6.1.6. 判明済みデータを確認する

(1) 死後記録デンタルチャート一覧から確認したい1件をダブルクリックします。



(2) 判明データ比較画面が表示されます。

ID	性別	年齢	右上8	右上7	右上6	右上5	右上4	右上3	右上2	右上1	左上1
死後-00005	男性	不明	4	3	1	1	3	4	3	1	3
生前-00873	男性	不明	4	3	1	1	3	4	3	1	3

インフォメーション

判明していないデータをダブルクリックしても表示されません。

判明 ID が登録されていない場合、比較対象データなしとして ID に "-" (ハイフン) が表示されます。

ID	性別	年齢	右上8	右上7	右上6	右上5	右上4	右上3	右上2	右上1	左上1
死後-00002	女性	不明	4	1	3	2	2	1	1	1	4
-	不明	不明									

6.2. 生前データ

6.2.1. 新規に登録する

(1) 生前記録デンタルチャート用の [新規登録] ボタンをクリックします。

死後記録デンタルチャート 総件数 0件 (判明済み 0件)

生前記録デンタルチャート 総件数 0件 (判明済み 0件)

検索設定 生前→死後 判明済みを表示 ブリッジ

表示設定 完全一致数

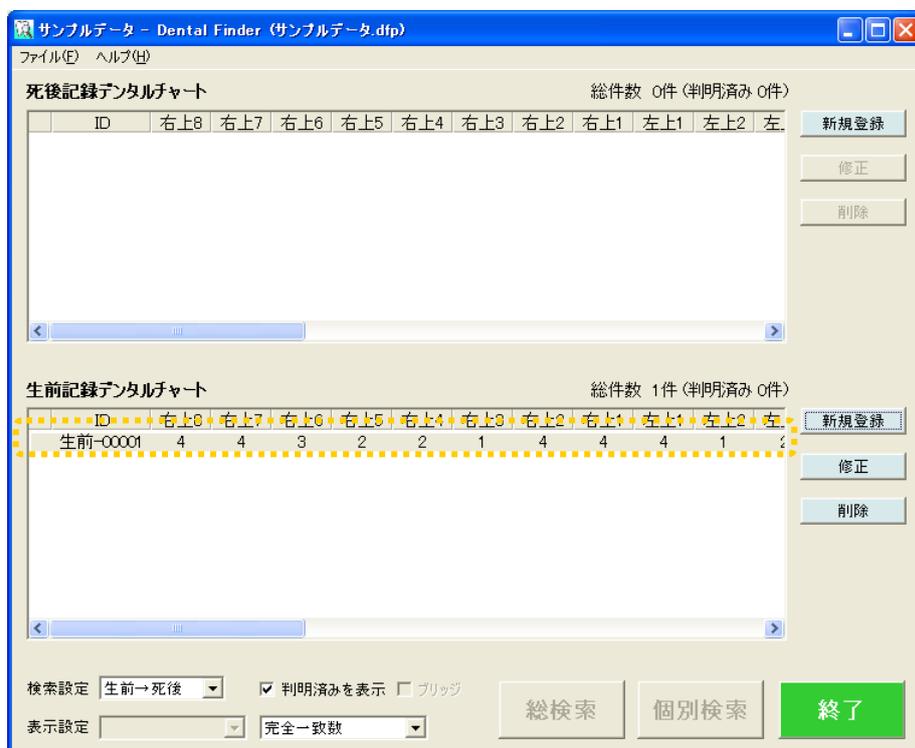
(2) 生前データ新規作成用の登録修正画面が表示されます。

(3) 必要事項を指定したあと、[保存]ボタンをクリックし、指定したデータを保存します。

インフォメーション

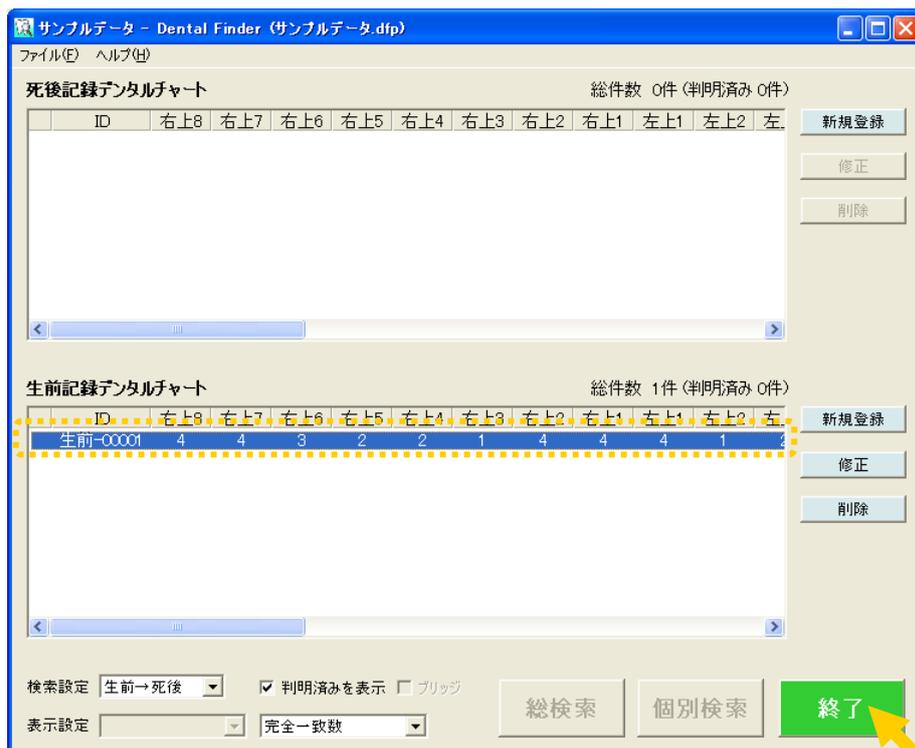
登録修正画面の詳細は「4.2 登録修正画面」を参照して下さい。

- (4) メイン画面に新規に登録したデータが表示されます。



6.2.2. 既に登録されているデータを修正する

- (1) 生前記録デンタルチャート一覧から修正したい1件を選択したあと、[修正]ボタンをクリックします。



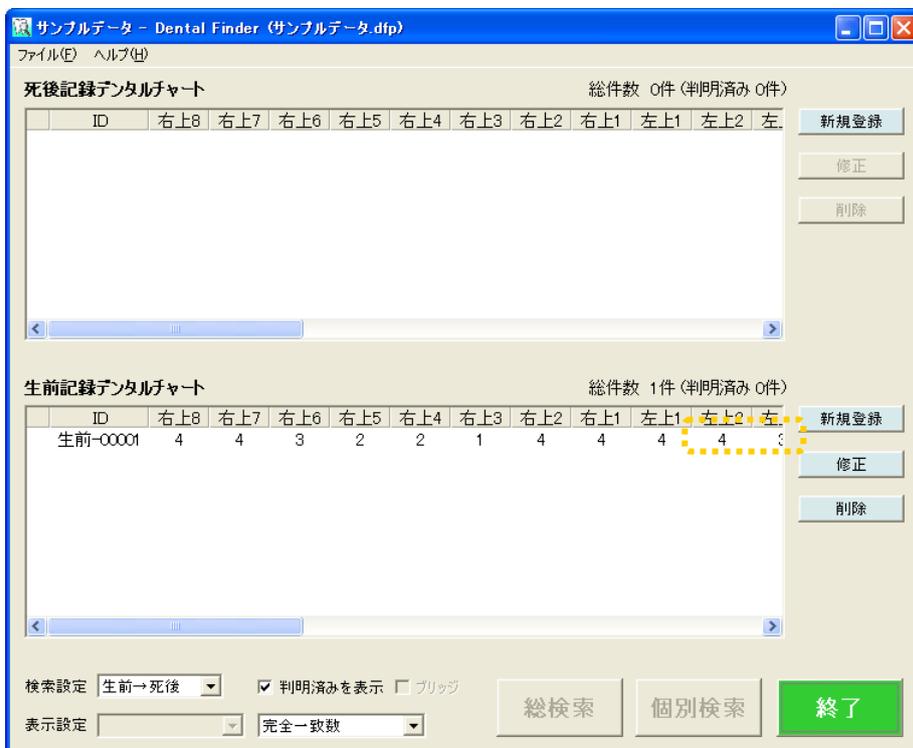
(2) 生前データ修正用の登録修正画面が表示されます。

(3) 必要事項を修正したあと、[保存]ボタンをクリックし、修正したデータを保存します。

インフォメーション

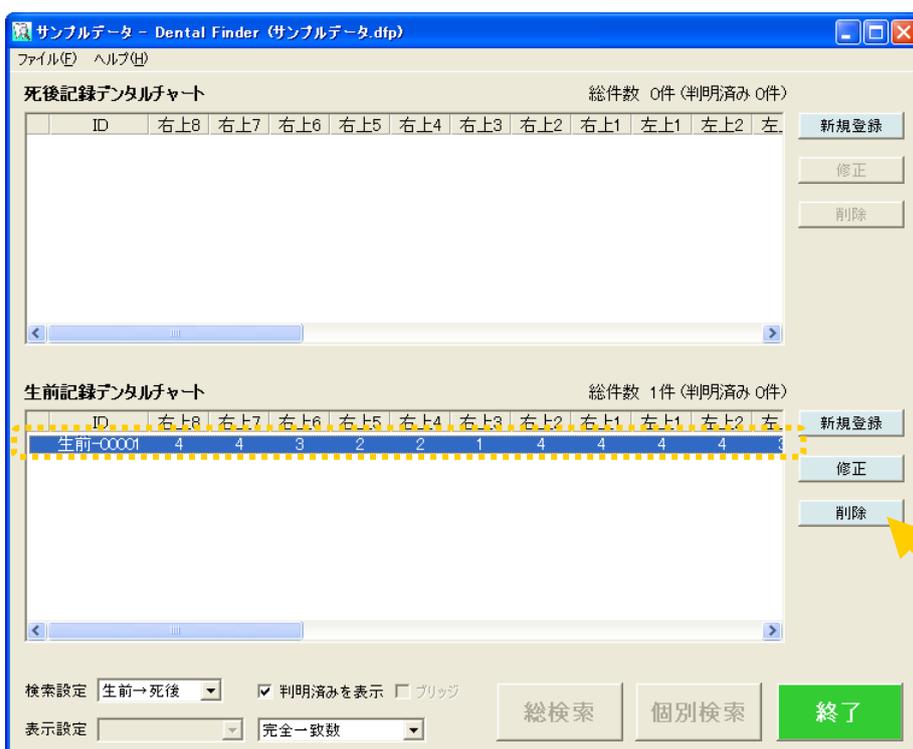
ここでは左上 2、および左上 3 のデンタルチャートを修正した場合を例としています。登録修正画面の詳細は「4.2 登録修正画面」を参照して下さい。

- (4) メイン画面に修正したデータが表示されます。

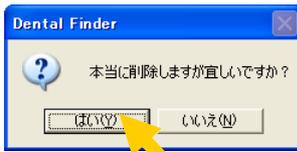


6.2.3. 既に登録されているデータを削除する

- (1) 生前記録デンタルチャート一覧から削除したい 1 件を選択したあと、[削除]ボタンをクリックします。

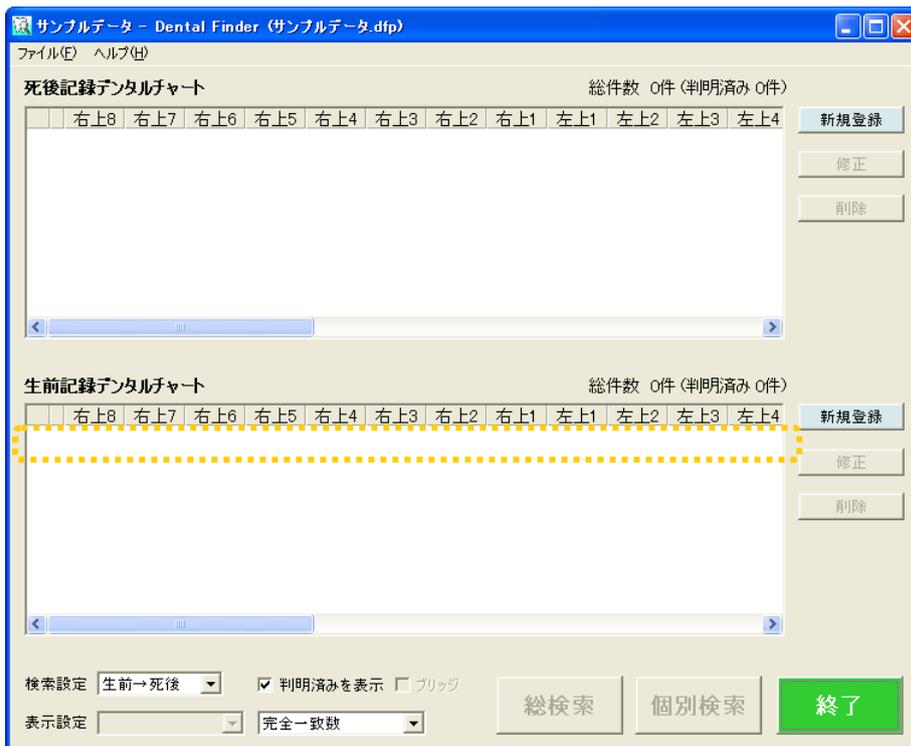


(2) 確認メッセージボックスが表示されます。



[はい]ボタンをクリックします。

(3) メイン画面からデータが削除されます。

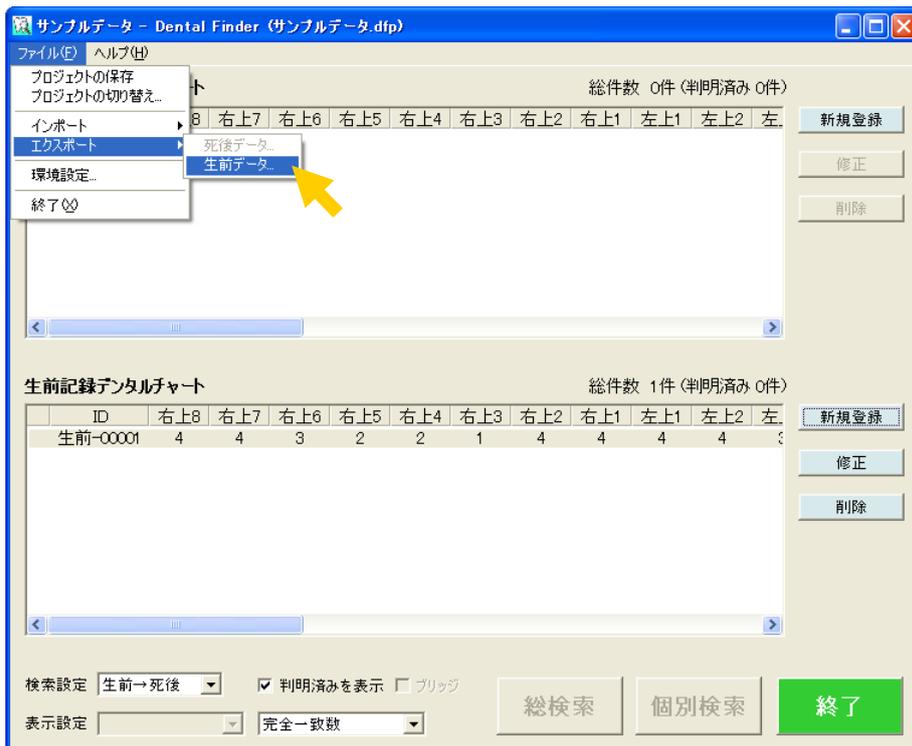


注意

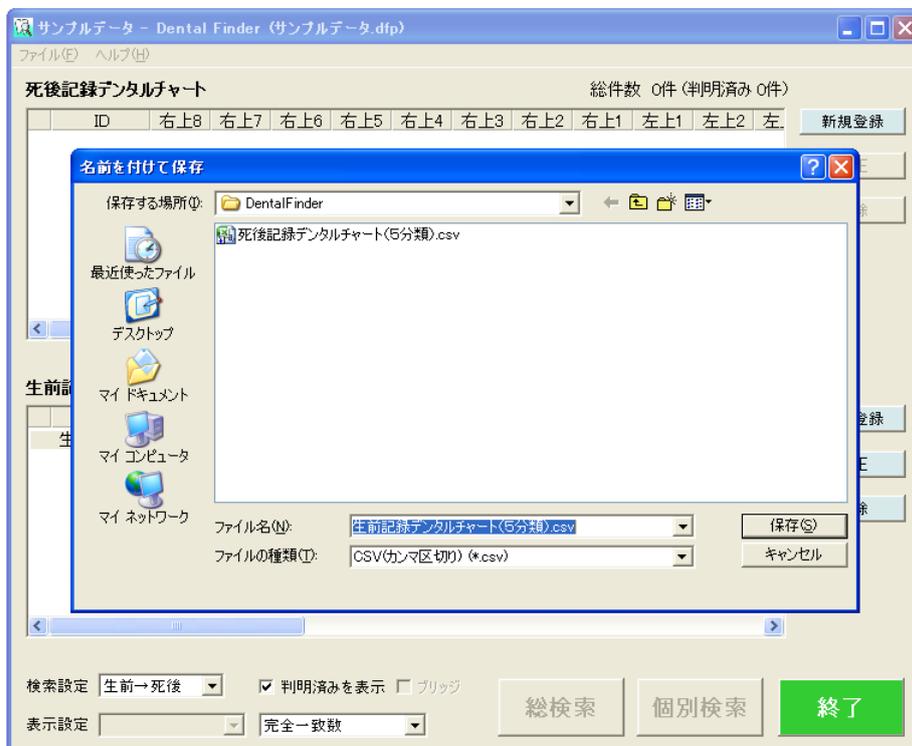
判明済みデータは削除できません。削除したい場合は、判別状態を[判明していない]に修正してから、再度削除して下さい。

6.2.4. 既に登録されているデータを外部ファイルへエクスポートする

(1) [ファイル]メニューから[エクスポート]→[生前データ]を選択します。



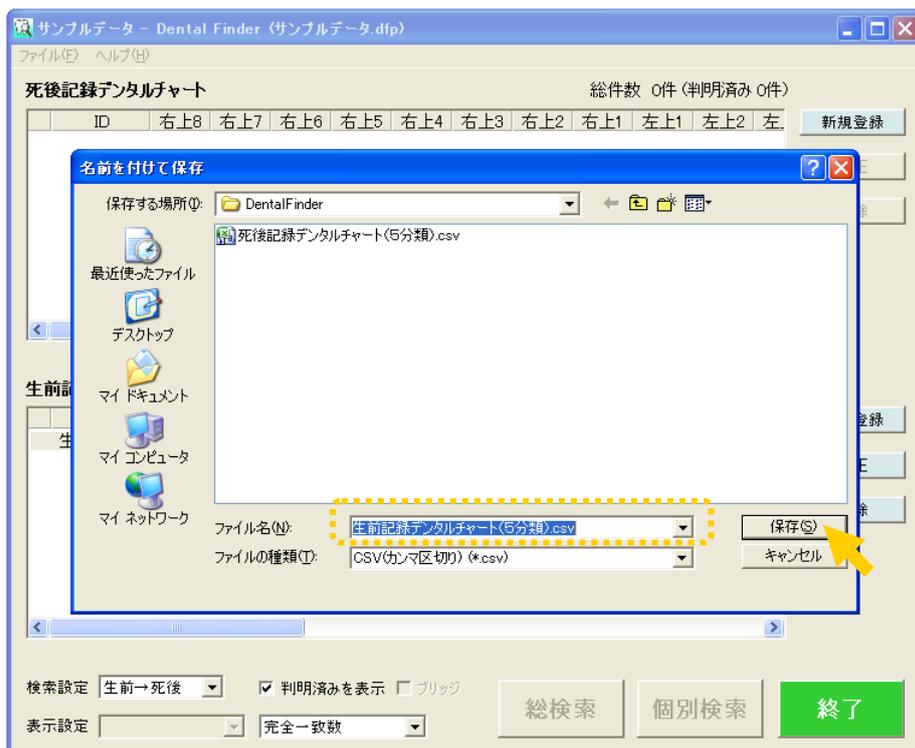
(2) ファイルセレクションが表示されます。



インフォメーション

[ファイル名]テキストボックスにはデフォルトのファイル名が設定されます。

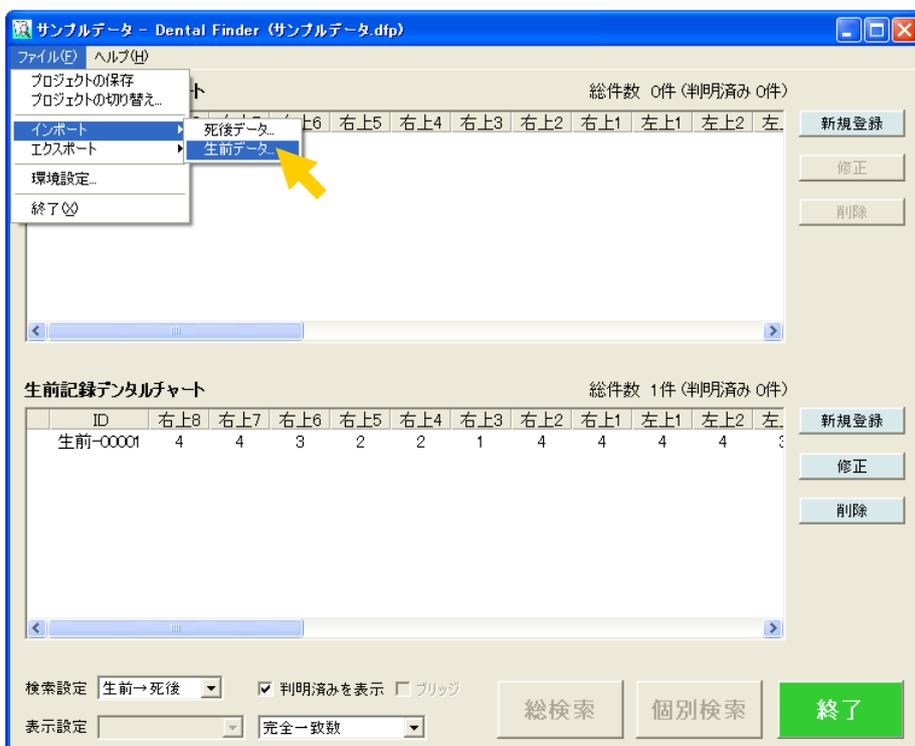
(3) [ファイル名]テキストボックスに出力ファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。



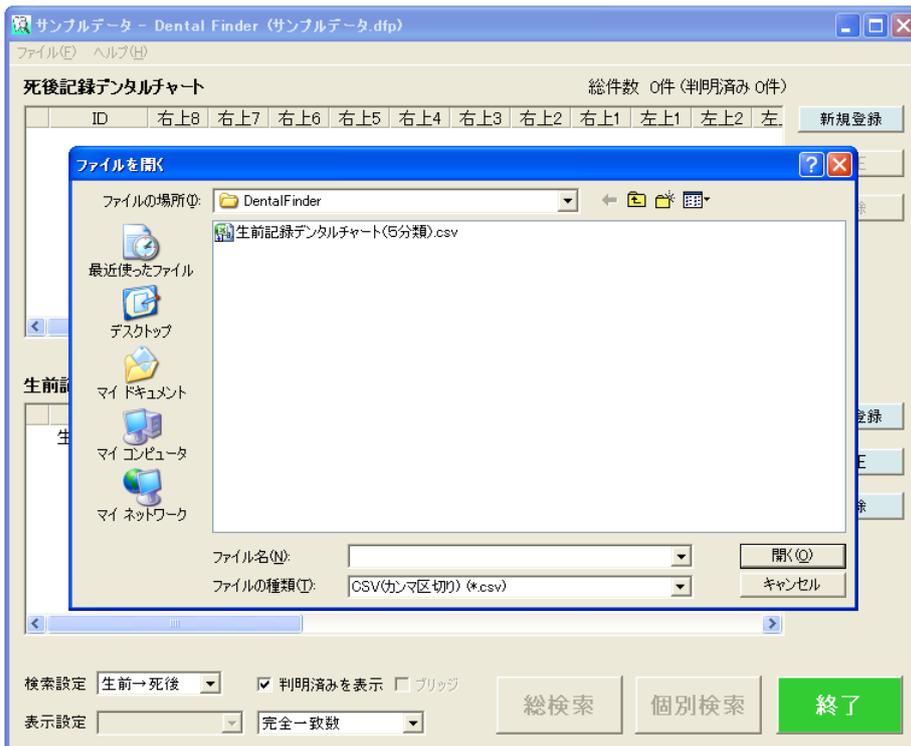
(4) 指定したファイルに生前データが CSV フォーマットで保存されます。

6.2.5. 外部ファイルからインポートする

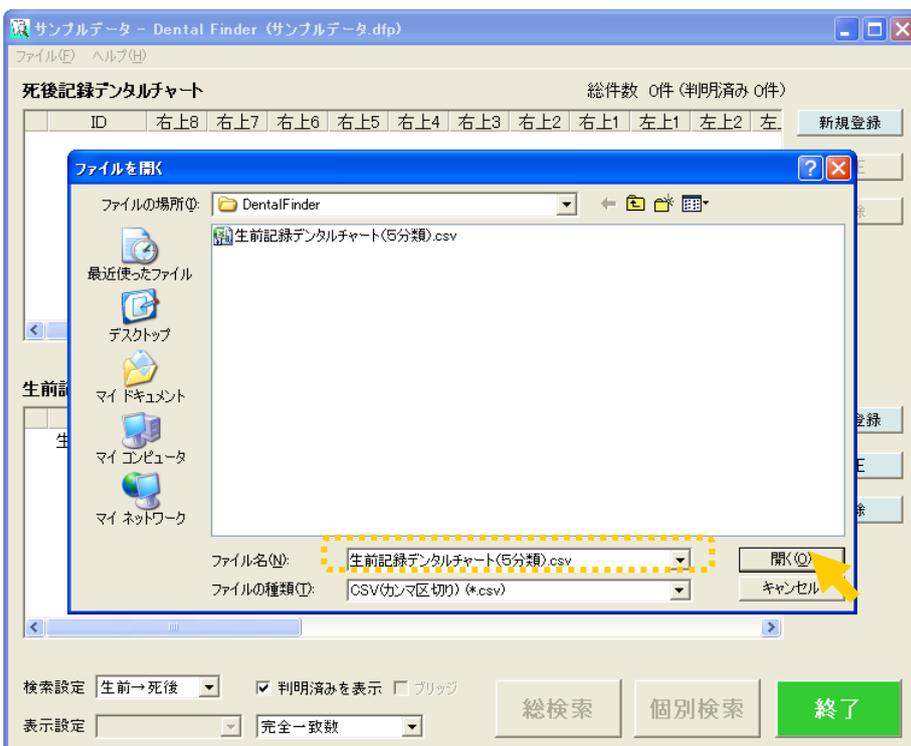
(1) [ファイル]メニューから[インポート]→[生前データ]を選択します。



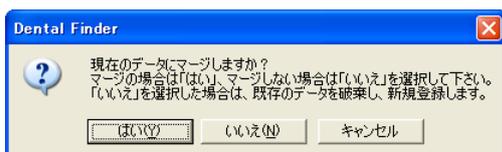
(2) ファイルセレクションが表示されます。



(3) [ファイル名]テキストボックスにインポートファイル名を入力し、[開く]ボタンをクリックします。



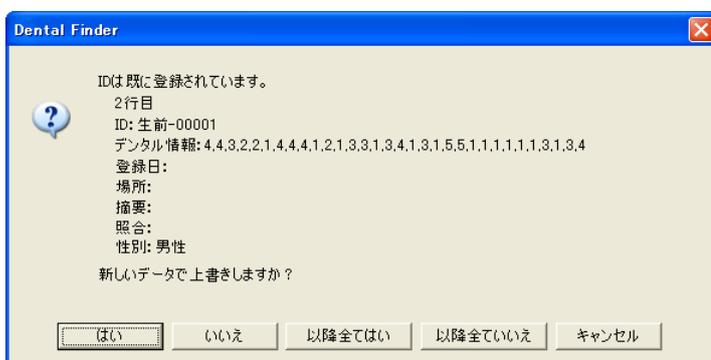
(4) インポート方法の確認メッセージボックスが表示されます。



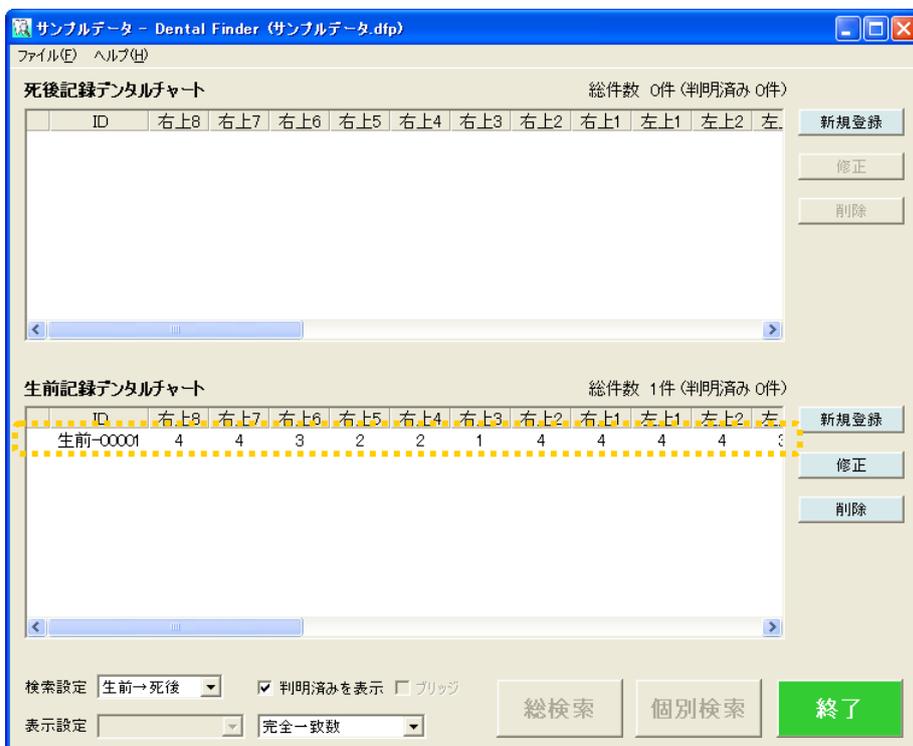
既に登録されているデータに対してインポートファイルのデータを追加する場合は[はい]ボタンを、既に登録されているデータを破棄し、インポートファイルのデータを追加する場合は[いいえ]ボタンを、インポート処理を中断する場合は[キャンセル]をクリックします。

インフォメーション

インポートファイルに既に登録されているデータと同じIDのデータが含まれている場合、どちらのデータを有効とするかの確認メッセージボックスが表示されます。



(5) メイン画面にインポートしたデータが表示されます。

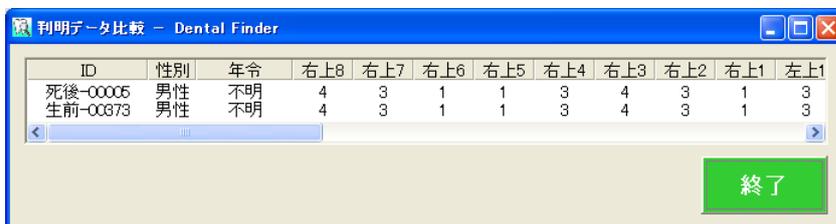


6.2.6. 判明済みデータを確認する

(1) 死後記録デンタルチャート一覧から確認したい 1 件をダブルクリックします。



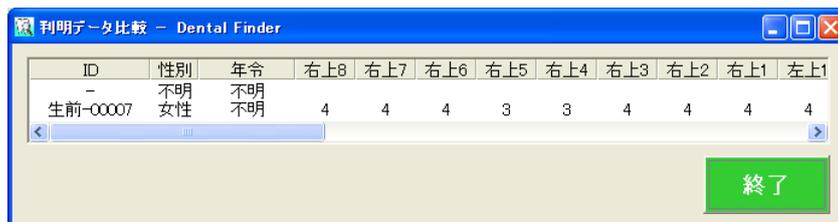
(2) 判明データ比較画面が表示されます。



インフォメーション

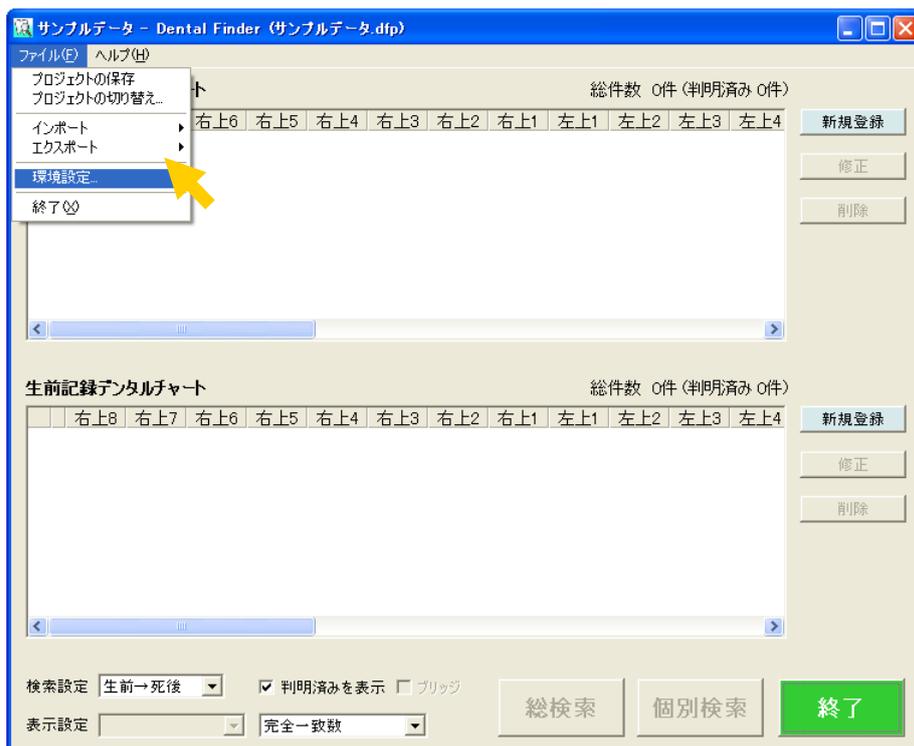
判明していないデータをダブルクリックしても表示されません。

判明 ID が登録されていない場合、比較対象データなしとして ID に "-" (ハイフン) が表示されます。



6.3. プロジェクト名を変更する

(1) [ファイル]メニューから[環境設定...]を選択します。



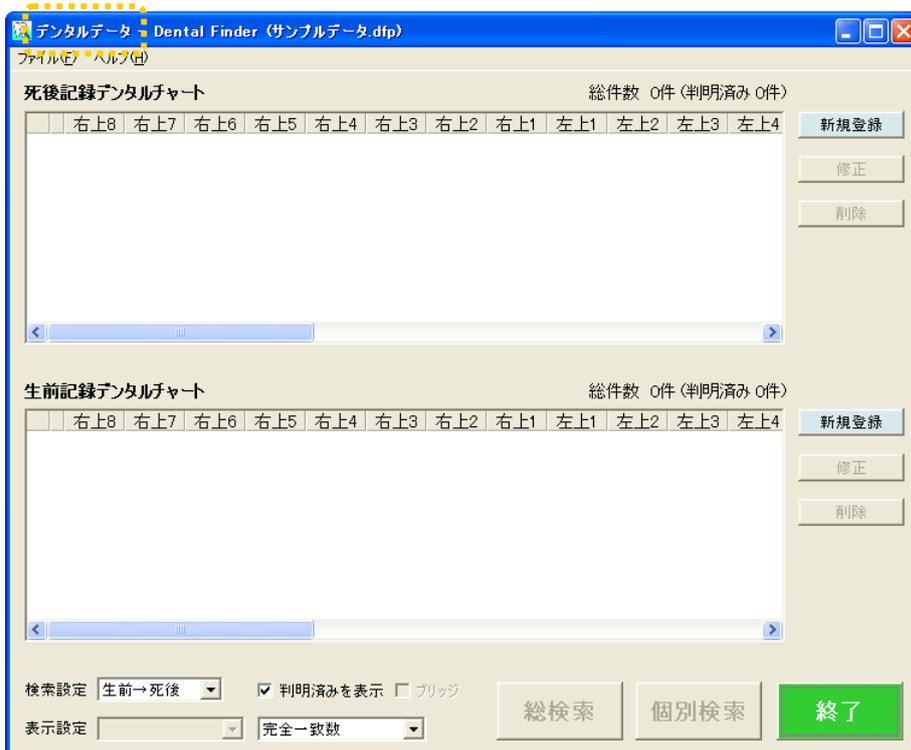
(2) 環境設定画面が表示されます。



(3) [プロジェクト名]テキストボックスにプロジェクト名を入力し、[設定]ボタンをクリックします。

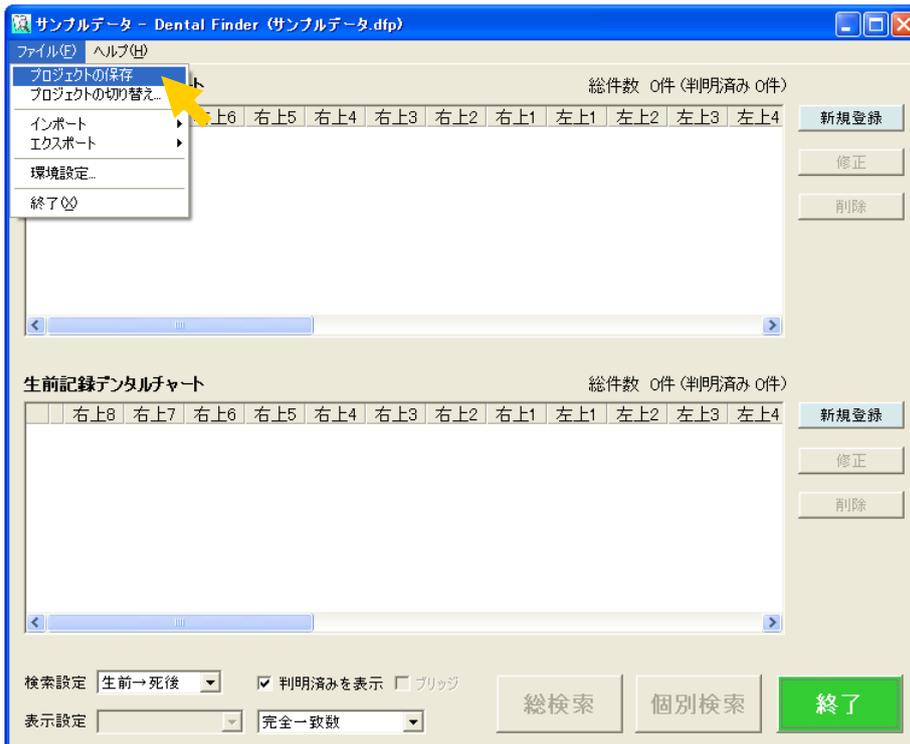


(4) メイン画面のタイトルが新しいプロジェクト名で表示されます。



6.4. プロジェクトを保存する

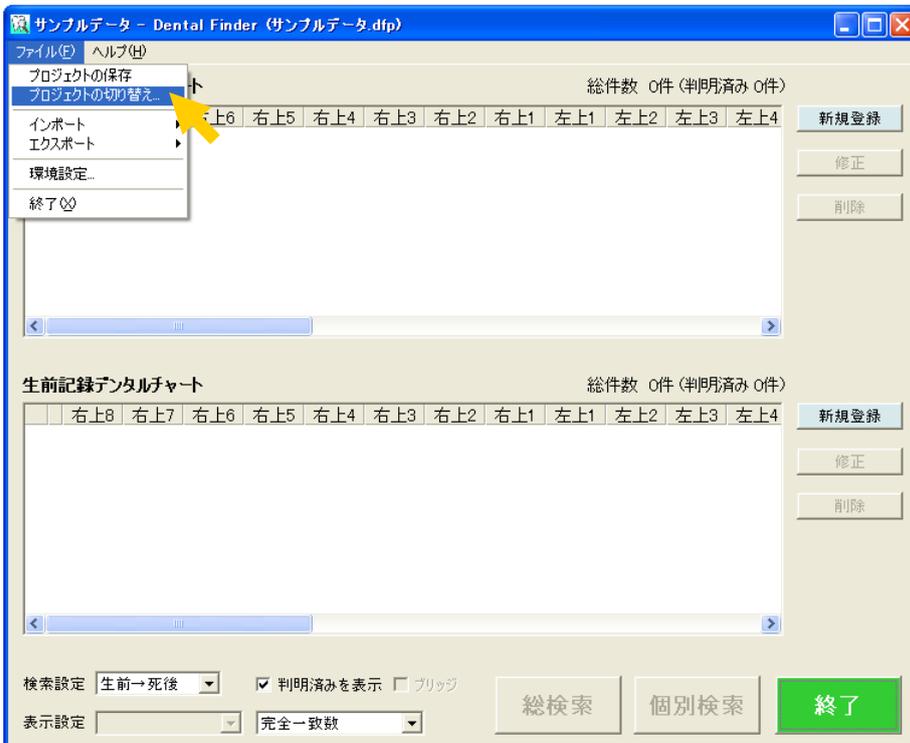
- (1) [ファイル]メニューから[プロジェクトの保存]を選択します。



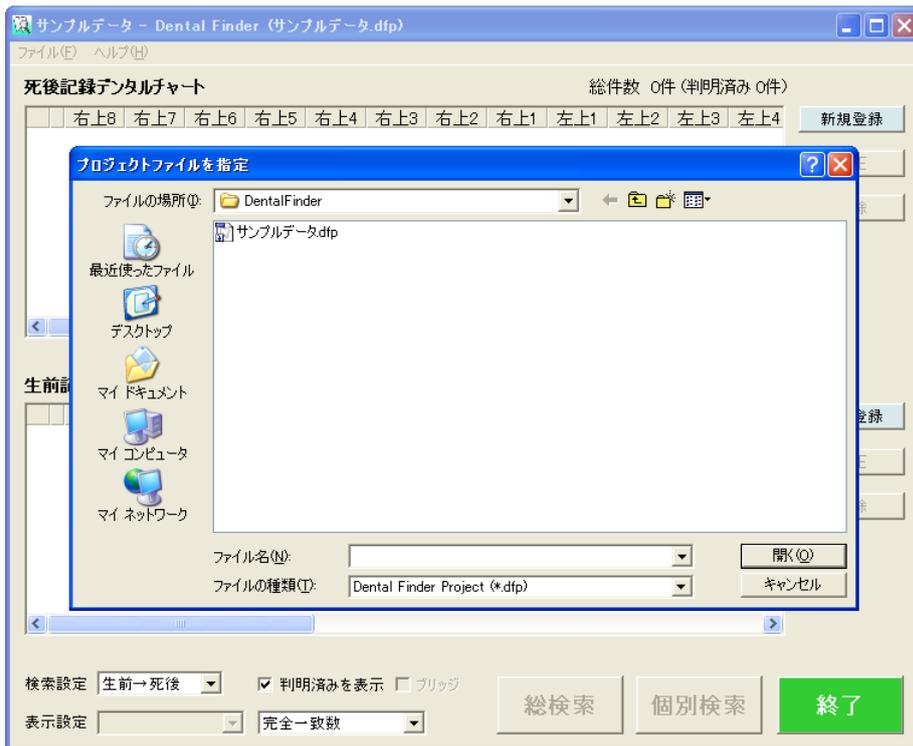
- (2) プロジェクトファイルに保存されます。

6.5. プロジェクトを切り替える

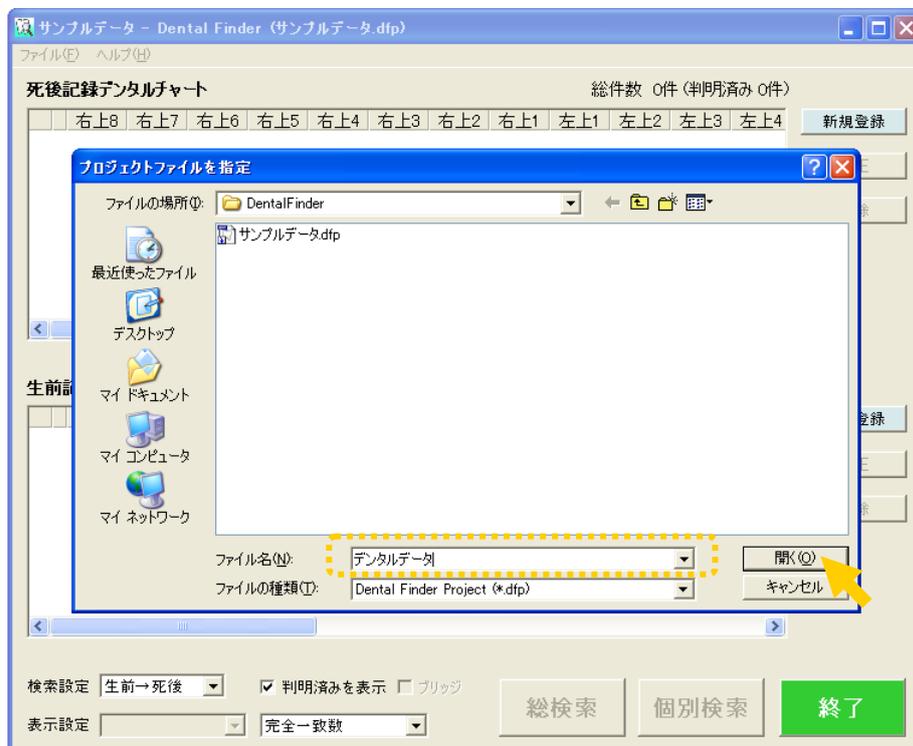
- (1) [ファイル]メニューから[プロジェクトの切り替え...]を選択します。



(2) ファイルセレクションが表示されます。



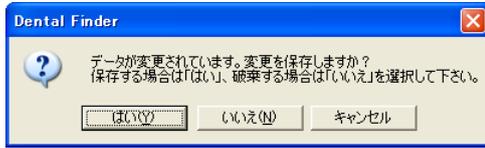
(3) [ファイル名]テキストボックスにプロジェクトファイル名を入力し、[開く]ボタンをクリックします。



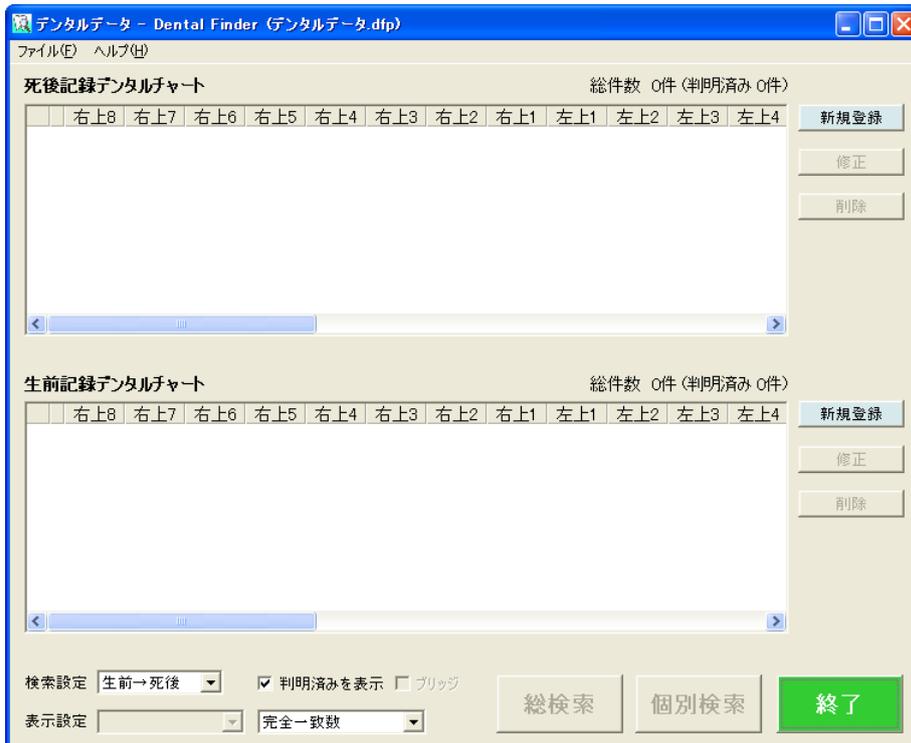
インフォメーション

存在しないファイル名を入力した場合は、新規のプロジェクトが作成されます。

現在開いているプロジェクトファイルが変更されている場合、保存の確認メッセージボックスが表示されます。



(4) メイン画面が表示されます。

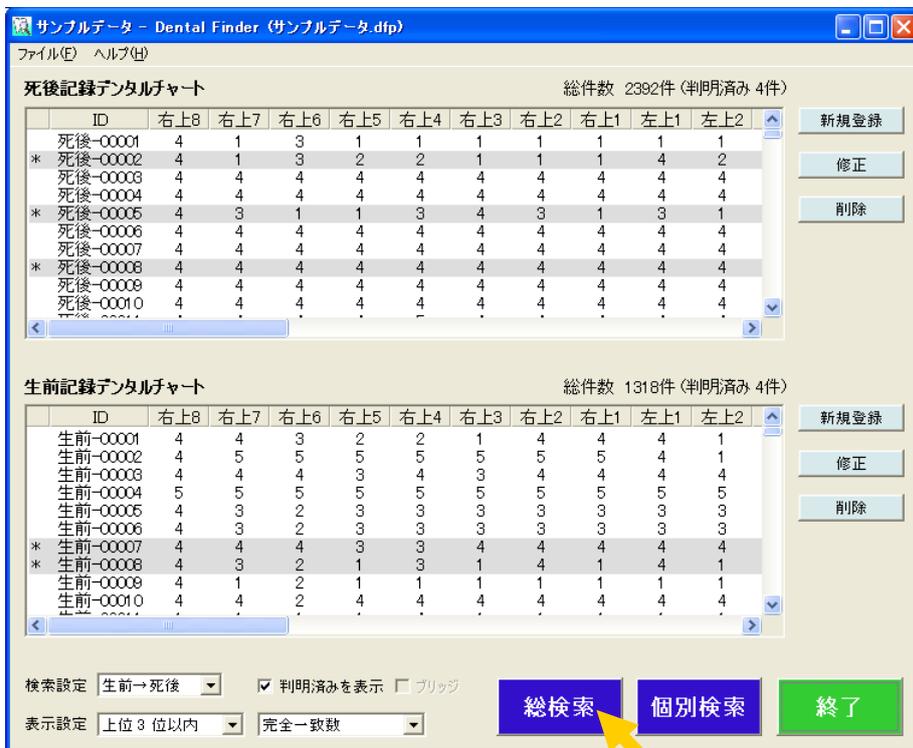


7. 身元特定に有力な組合せを検索する

7.1. 全ての検索結果を確認する(総検索)

7.1.1. 検索結果を表示する

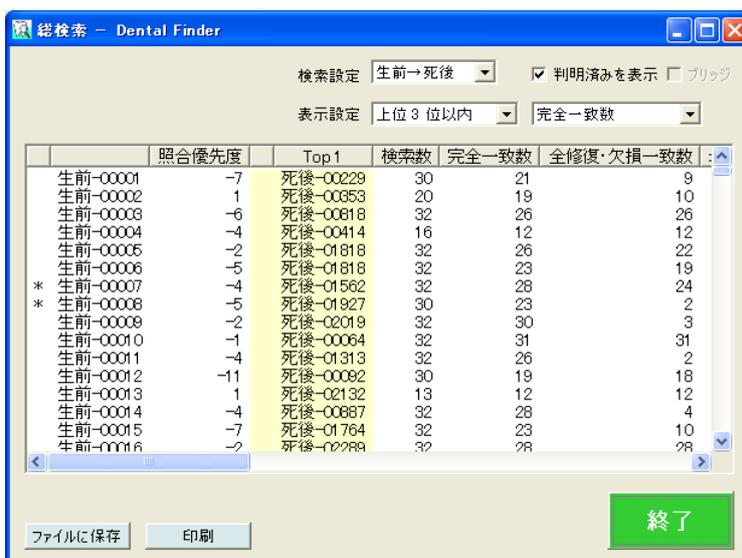
(1) メイン画面の[総検索]ボタンをクリックします。



注意

死後データ、または生前データの登録がない場合、[総検索]ボタンは選択できません。

(2) 総検索画面が表示されます。



インフォメーション

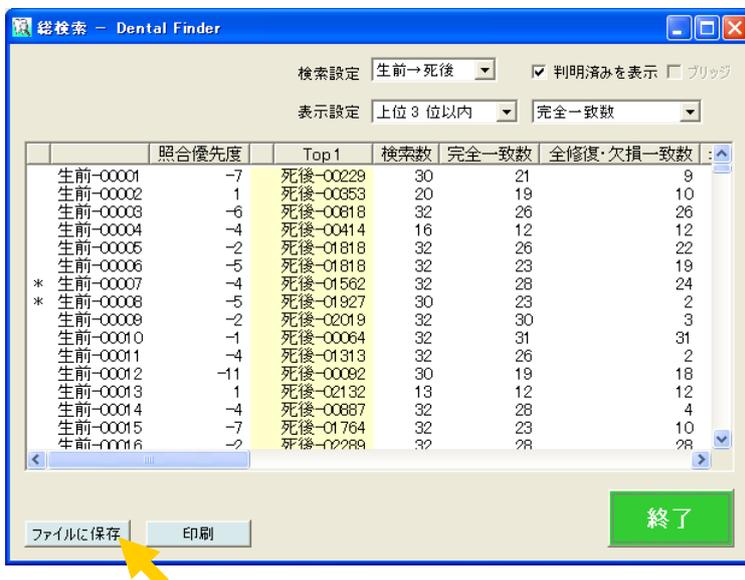
検索条件を変更する方法の詳細は「4.1.3 検索条件設定エリア」を参照して下さい。

注意

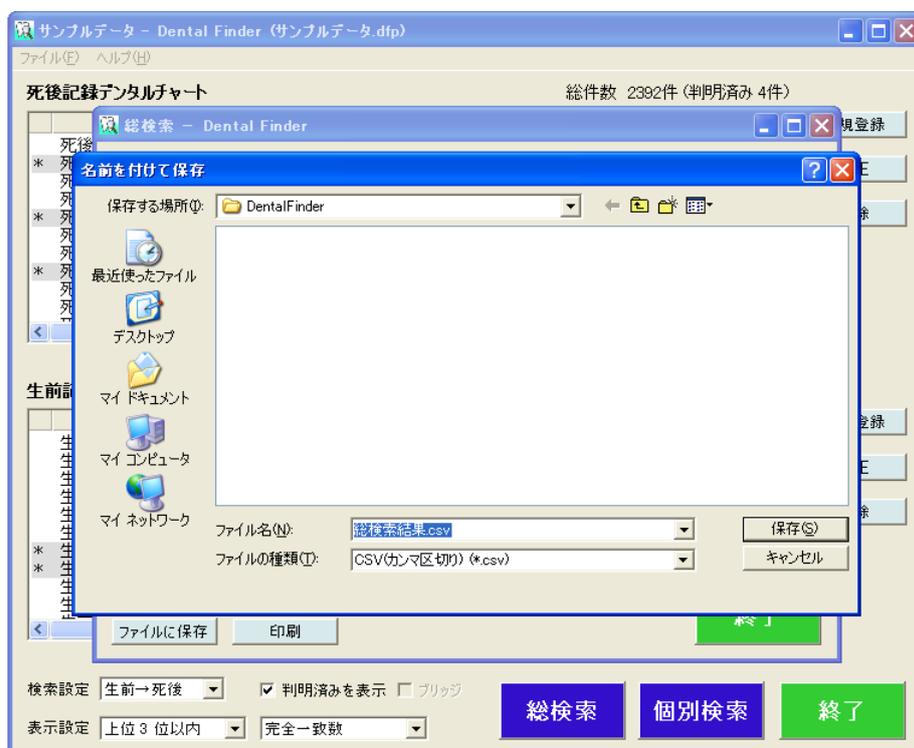
表示量設定が多いと、正しく表示できない場合があります。

7.1.2. 検索結果をファイルへ出力する

(1) 総検索画面の[ファイルに保存]ボタンをクリックします。



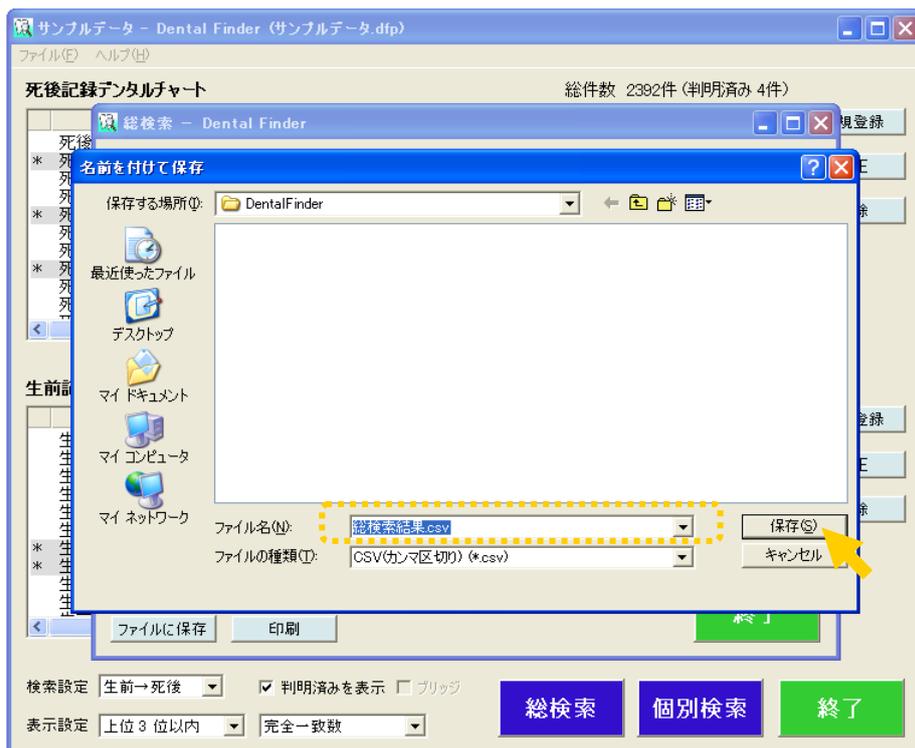
(2) ファイルセレクションが表示されます。



インフォメーション

[ファイル名]テキストボックスにはデフォルトのファイル名が設定されます。

(3) [ファイル名]テキストボックスに出力ファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。



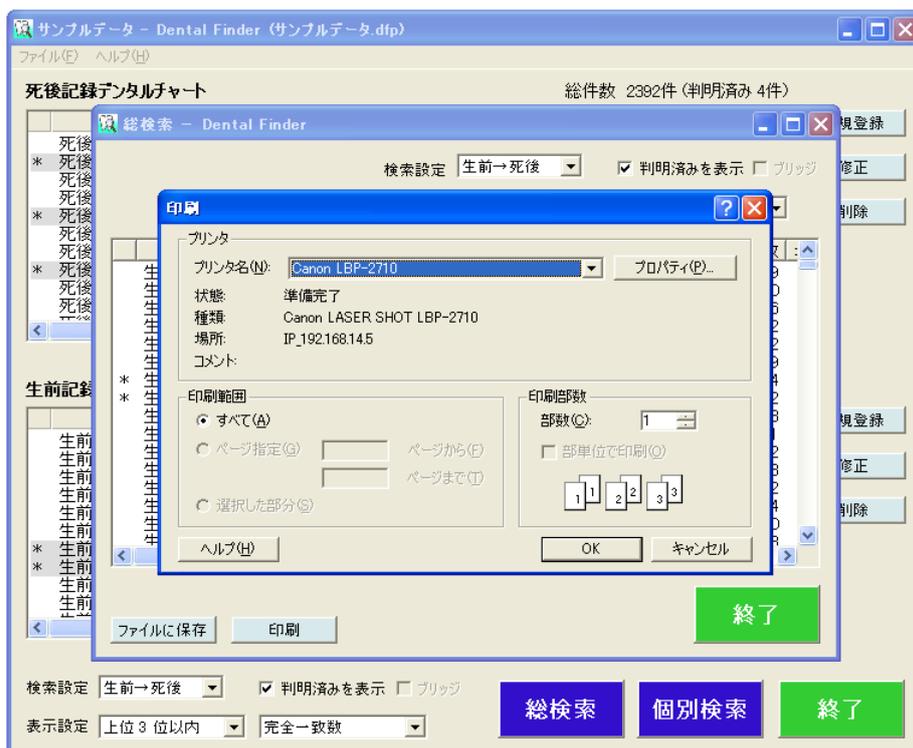
(4) 指定したファイルに総検索結果が CSV フォーマットで保存されます。

7.1.3. 検索結果を印刷する

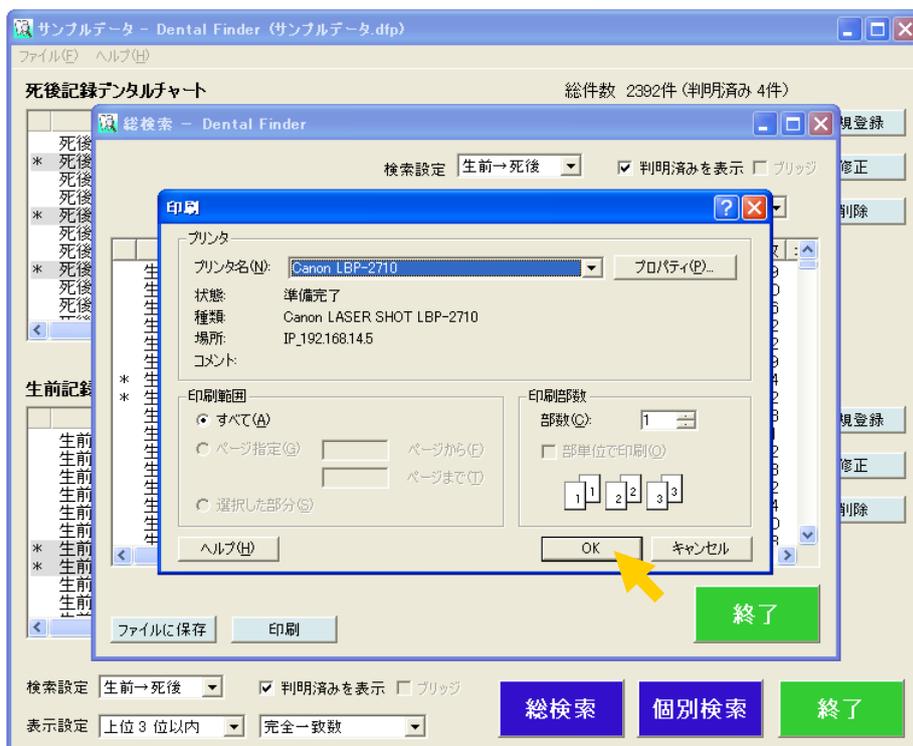
(1) 総検索画面の[印刷]ボタンをクリックします。



(2) 印刷設定画面が表示されます。



(3) 必要に応じて印刷設定を変更し、[OK]ボタンをクリックします。



(4) 指定したプリンタから総検索結果が印刷されます。

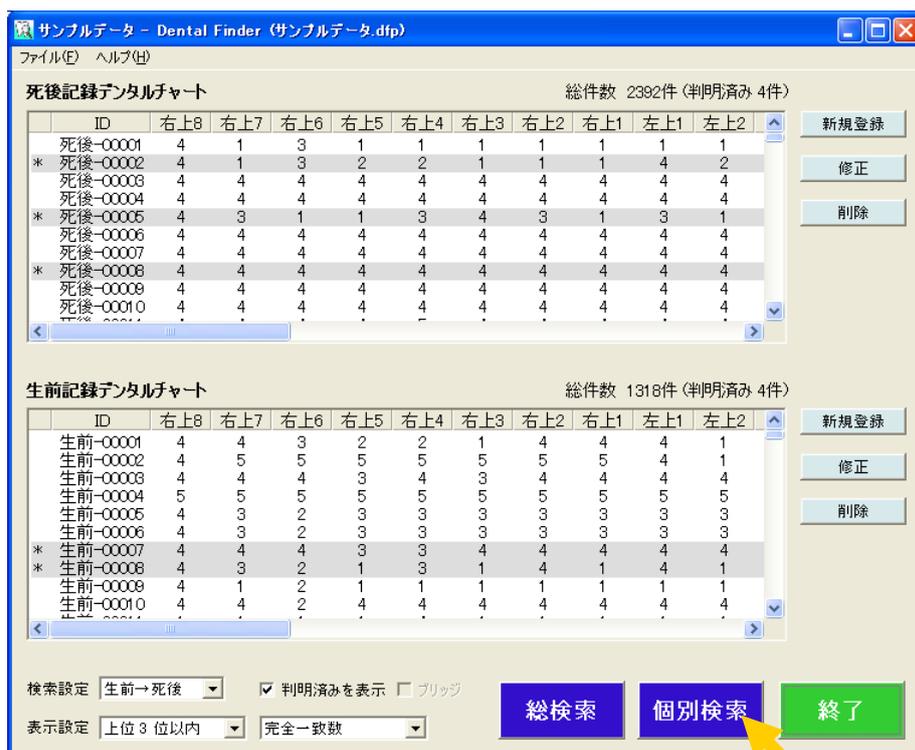
7.2. 1 個人に対する検索結果を確認する(個別検索)

1 個人に対する検索結果を確認するには、以下の 2 種類の方法があります。

- メイン画面の[個別検索]ボタンから起動
- 総検索画面の検索結果一覧から 1 件を選択して起動

7.2.1. メイン画面から検索結果を表示する

(1) メイン画面の[個別検索]ボタンをクリックします。



注意

死後データ、または生前データの登録がない場合、[個別検索]ボタンは選択できません。

(2) 個別検索画面が表示されます。

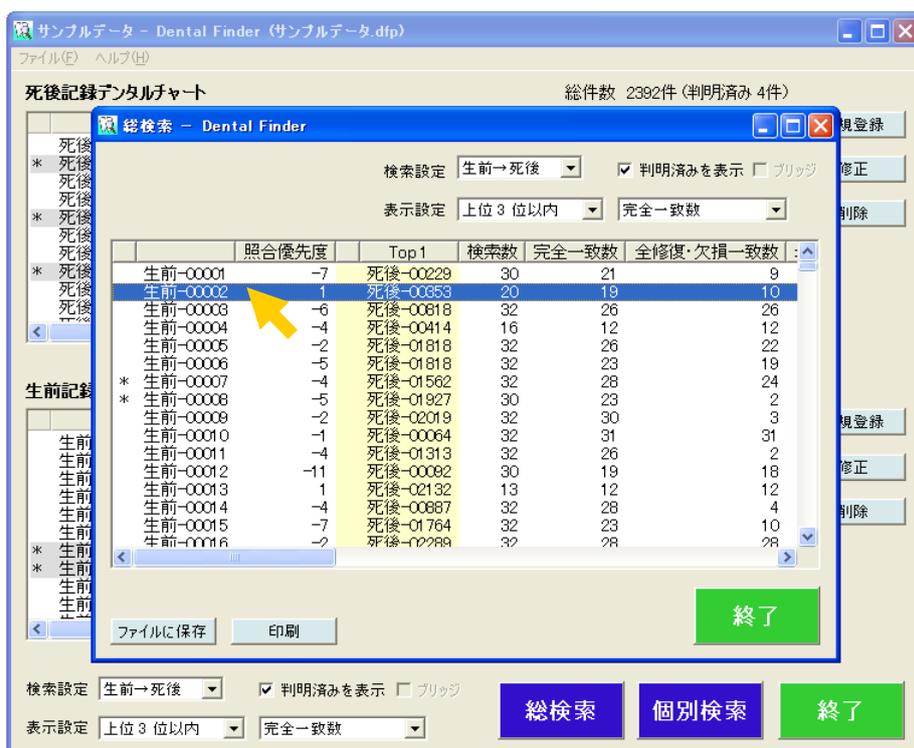


インフォメーション

検索条件を変更する方法の詳細は「4.1.3 検索条件設定エリア」を参照して下さい。

7.2.2. 総検索画面から 1 個人を指定して検索結果を表示する

(1) 総検索画面にある検索結果一覧から確認したい 1 件をダブルクリックします。



(2) 個別検索画面が表示されます。

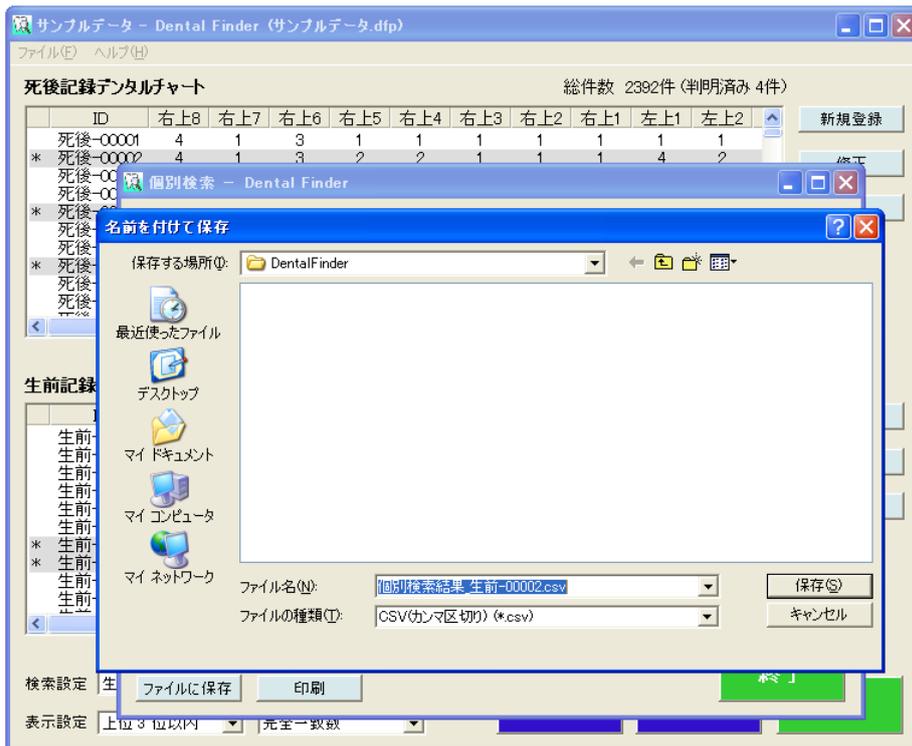


7.2.3. 検索結果をファイルへ出力する

(1) 個別検索画面の[ファイルに保存]ボタンをクリックします。



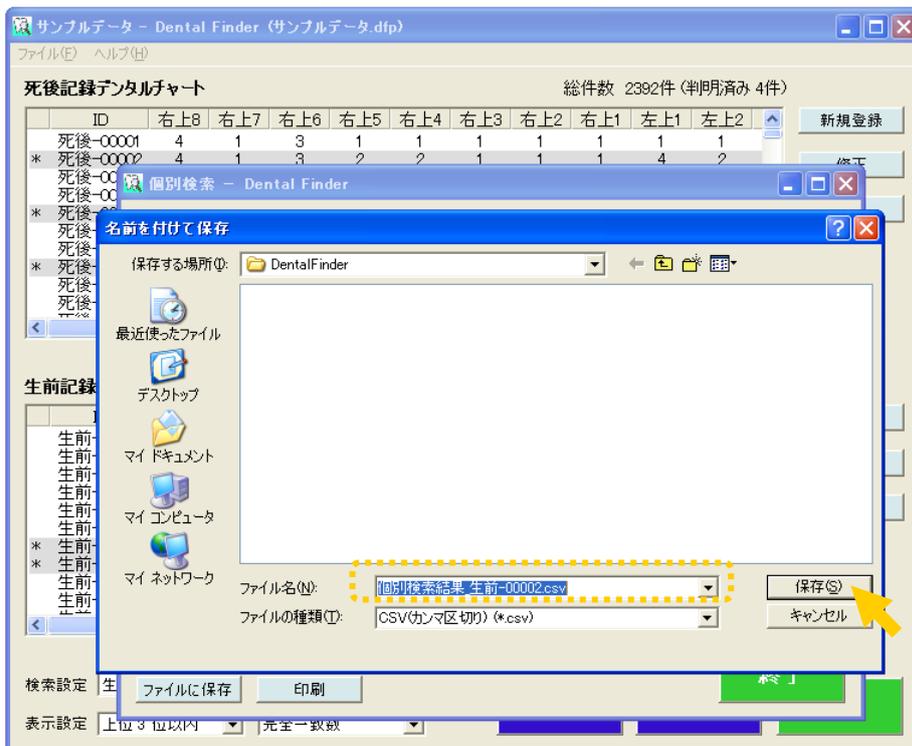
(2) ファイルセレクションが表示されます。



インフォメーション

[ファイル名]テキストボックスにはデフォルトのファイル名が設定されます。

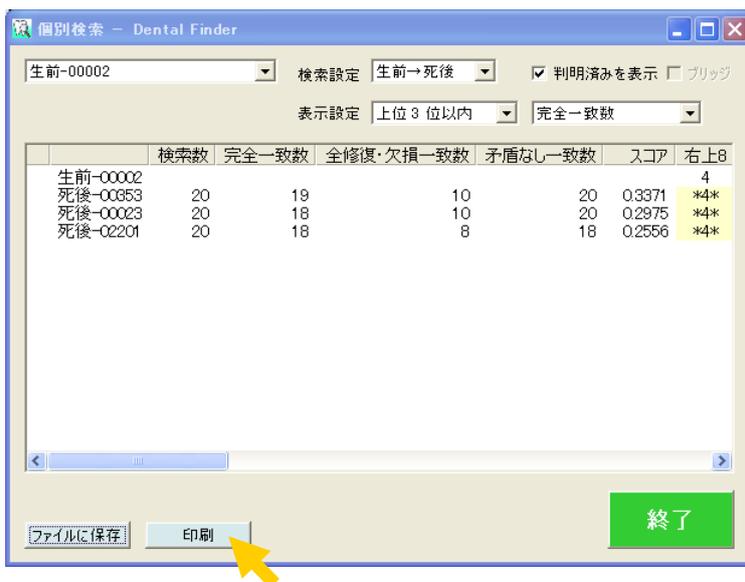
(3) [ファイル名]テキストボックスに出力ファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。



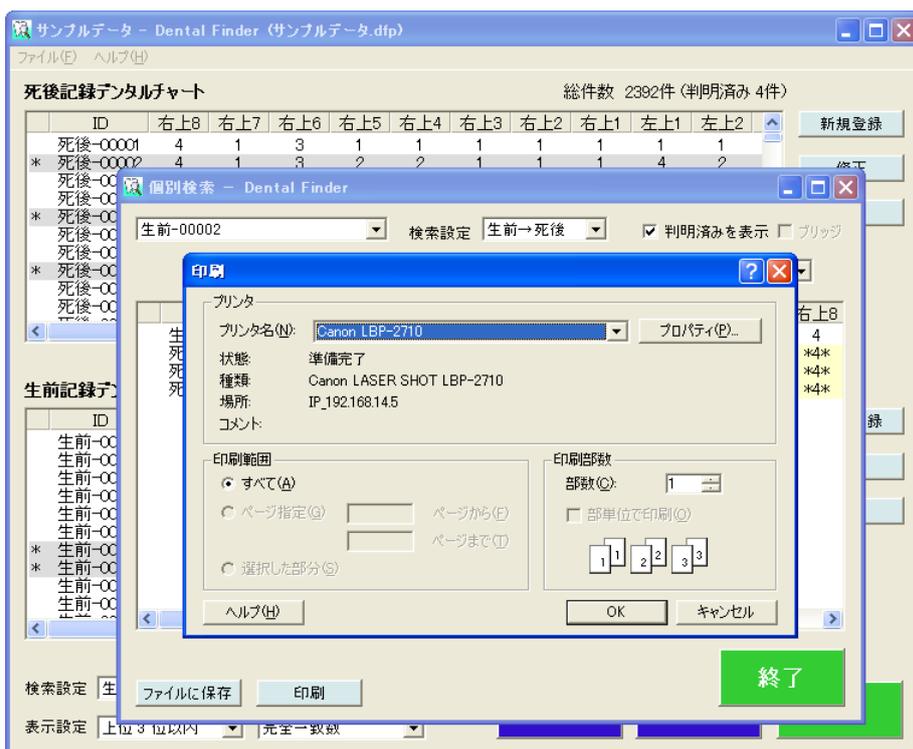
(4) 指定したファイルに個別検索結果が CSV フォーマットで保存されます。

7.2.4. 検索結果を印刷する

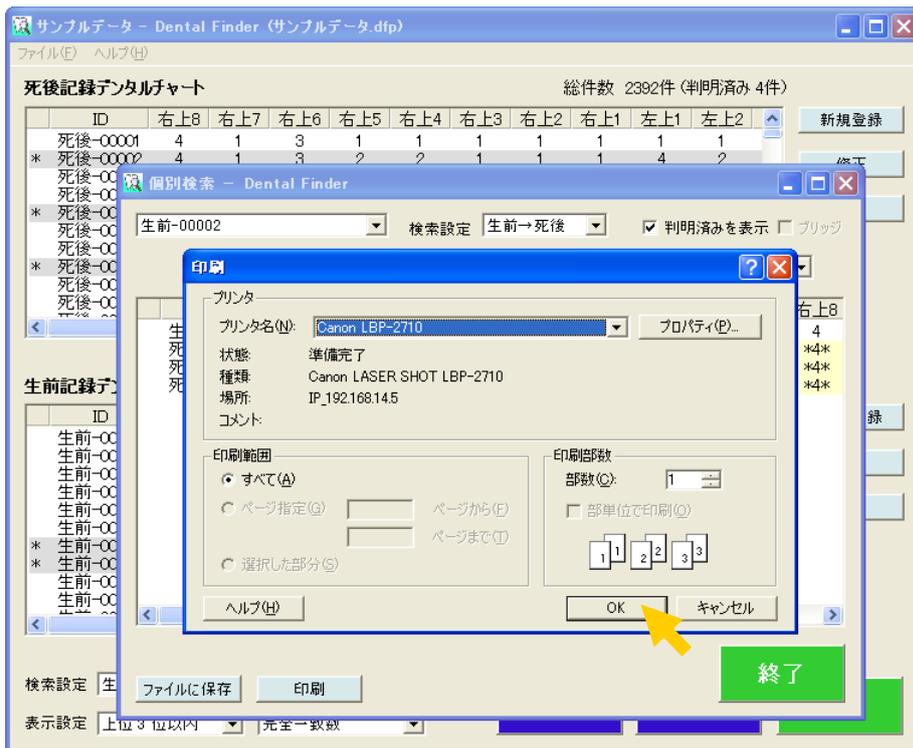
(1) 個別検索画面の[印刷]ボタンをクリックします。



(2) 印刷設定画面が表示されます。



(3) 必要に応じて印刷設定を変更し、[OK]ボタンをクリックします。

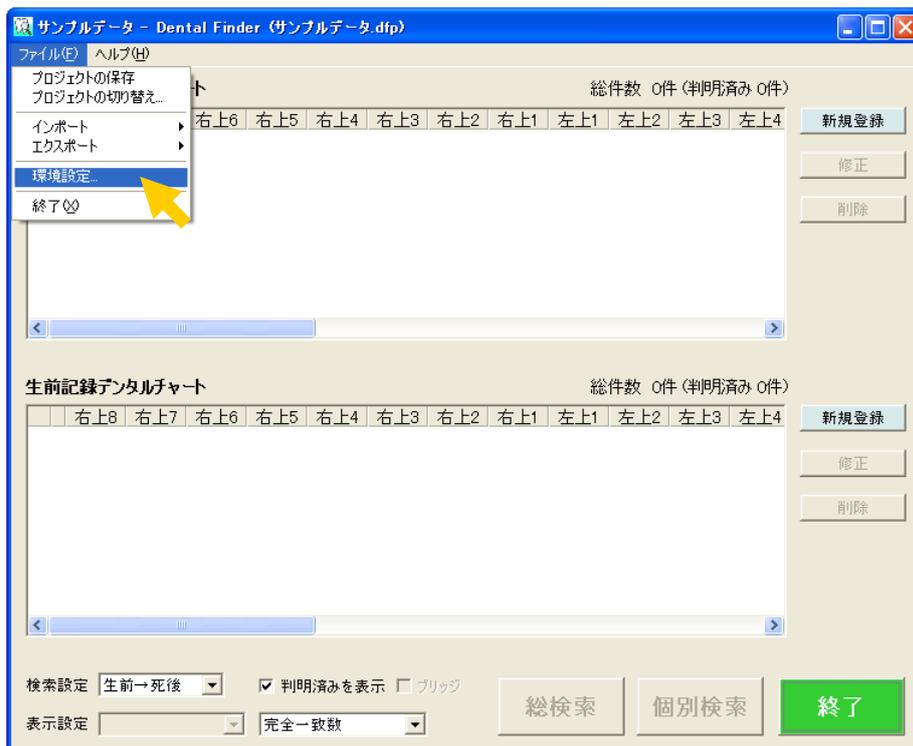


(4) 指定したプリンタから個別検索結果が印刷されます。

8. 検索情報を変更する

8.1. 照合優先度の係数を変更する

(1) [ファイル]メニューから[環境設定...]を選択します。



(2) 環境設定画面が表示されます。



(3) [照合優先度の係数]テキストボックスの値を変更し、[設定]ボタンをクリックします。



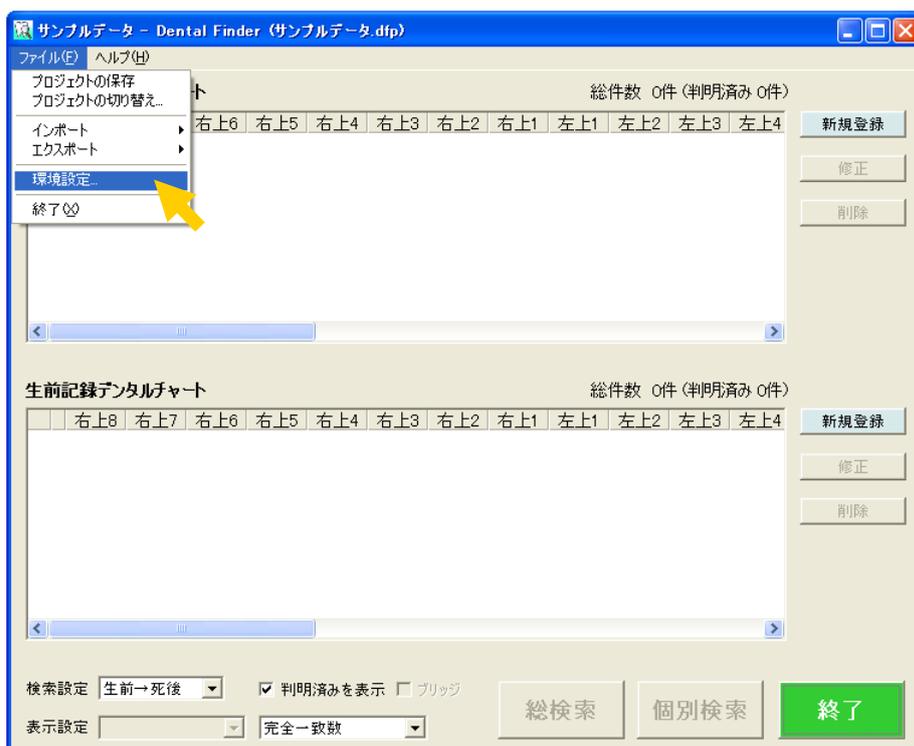
注意

変更した値は、次に総検索の結果を表示したときから有効となります。

既に表示されている総検索画面には反映されませんので、一度総検索画面を閉じてから、再度表示して下さい。

8.2. スコアの重みづけを変更する

(1) [ファイル]メニューから[環境設定...]を選択します。



(2) 環境設定画面が表示されます。

環境設定 - Dental Finder

プロジェクト名: サンプルデータ

照合優先度の係数: 2

スコアの重みづけ(死後→生前)

		死後				
		健全歯	部分修復	全部修復	欠損	情報なし
生前	健全歯	0.2202	-0.4976	-0.7510	-0.7751	0.0000
	部分修復	-0.1626	0.5898	-1.0000	-1.0000	0.0000
死後	全部修復	-0.3530	-1.0000	0.7500	-0.9368	0.0000
	欠損	-0.5837	-0.4453	-0.7950	0.4463	0.0000
情報なし		0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

スコアの重みづけ(生前→死後)

		生前				
		健全歯	部分修復	全部修復	欠損	情報なし
死後	健全歯	0.6674	-0.1196	-0.1193	-0.6099	0.0000
	部分修復	0.0620	0.9844	-0.4947	-1.0000	0.0000
生前	全部修復	-0.6156	-0.9871	1.0000	-0.4950	0.0000
	欠損	-0.6719	-1.0000	-1.0000	0.1250	0.0000
情報なし		0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

設定 キャンセル

(3) [スコアの重みづけ]テキストボックスの値を変更し、[設定]ボタンをクリックします。

環境設定 - Dental Finder

プロジェクト名: サンプルデータ

照合優先度の係数: 2

スコアの重みづけ(死後→生前)

		死後				
		健全歯	部分修復	全部修復	欠損	情報なし
生前	健全歯	0.2202	-0.4976	-0.7510	-0.7751	0.0000
	部分修復	-0.1626	0.5898	-1.0000	-1.0000	0.0000
死後	全部修復	-0.3530	-1.0000	0.7500	-0.9368	0.0000
	欠損	-0.5837	-0.4453	-0.7950	0.9887	0.0000
情報なし		0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

スコアの重みづけ(生前→死後)

		生前				
		健全歯	部分修復	全部修復	欠損	情報なし
死後	健全歯	0.6674	-0.1196	-0.1193	-0.6099	0.0000
	部分修復	0.0620	0.9844	-0.4947	-1.0000	0.0000
生前	全部修復	-0.6156	-0.9871	1.0000	-0.4950	0.0000
	欠損	-0.6719	-1.0000	-1.0000	0.1250	0.0000
情報なし		0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

設定 キャンセル

注意

変更した値は、次に総検索や個別検索の結果を表示したときから有効となります。
既に表示されている総検索/個別検索画面には反映されませんので、一度総検索/個別検索画面を閉じてから、再度表示して下さい。

9. 入力ファイルのフォーマット

Dental Finder で読み込めるファイルには、以下の 1 種類があります。

- 死後データ、生前データのインポートファイル

9.1. 死後データ、および生前データのインポートファイル

Dental Finder へ取り込む死後データ、または生前データを格納するファイルです。[ファイル]メニューの[インポート]から使用できます。

(1) 格納フォルダ

任意のフォルダ

(2) ファイル名

任意のファイル名

(3) ファイルフォーマット

","(カンマ)区切りの CSV フォーマットで記述します。

Dental Finder では、1 行目をインポート対象外行とし、2 行目からデータ部として扱います。また、データ部は 1 カラム目が空(データなし)の場合、インポート対象外行とします。

(3-1) データ部

1 行に 1 件分の登録データを記述します。

1 件分は以下のデータで構成します。

ID とデンタルチャートは省略できません。

	項目	サイズ	内容
1	ID	可変	ID 上位部+"-"(ハイフン)+ID 下位部
2	上右 8	各 1byte	デンタルチャート 32 本分の歯科情報を以下の番号で記述します。 1:健全歯 2:インレー・AF 3:全部修復 4:欠損・C4 5:情報なし 他の番号を指定した場合は 5 として扱われます。
:	:		
9	上右 1		
10	上左 1		
:	:		
17	上左 8		
18	下左 8		
:	:		
25	下左 1		
26	下右 1		
:	:		

33	下右 8		
34	登録日	可変	YYYY/MM/DD
35	場所	可変	
36	摘要	可変	
37	照合	可変	判別状態が「デンタルチャートで判明」、または「他の情報で判明」の場合"照合済"を記述します。 "照合済"以外を指定した場合は「判明していない」として扱われます。
38	性別	可変	「男性」の場合"男性"、「女性」の場合"女性"を記述します。 他の文字列を指定した場合は「不明」として扱われます。
39	No.	可変	使用されません。
40	氏名	可変	
41	年齢	可変	設定に合わせて以下のいずれかの文字列を記述します。 他の文字列を指定した場合は「不明」として扱われます。 "0～9 才" "10 代" "20 代" "30 代" "40 代" "50 代" "60 代" "70 代" "80 代" "90 代" "100 才以上"
42	ブリッジ上右 8	可変	ブリッジ有無 32 本分のブリッジ情報を以下の番号で記述します。 0:ブリッジなし 1:ブリッジあり 他の番号を指定した場合は 0 として扱われます。
:	:		
49	ブリッジ上右 1		
50	ブリッジ上左 1		
:	:		
57	ブリッジ上左 8		
58	ブリッジ下左 8		
:	:		
65	ブリッジ下左 1		
66	ブリッジ下右 1		
:	:		

73	ブリッジ下右 8		
74	判別状態	可変	設定に合わせて以下のいずれかの文字列を記述します。 他の文字列を指定した場合は「判明していない」として扱われます。 "判明していない" "デンタルチャートで判明" "他の情報で判明"
75	判明 ID	可変	判明した相手の ID を記述します。 ID 上位部+"-"(ハイフン)+ID 下位部
76	判明上右 8	可変	使用されません。
:	:		
83	判明上右 1		
84	判明上左 1		
:	:		
91	判明上左 8		
92	判明下左 8		
:	:		
99	判明下左 1		
100	判明下右 1		
:	:		
107	判明下右 8		
108	判明ブリッジ上右 8	可変	使用されません。
:	:		
115	判明ブリッジ上右 1		
116	判明ブリッジ上左 1		
:	:		
123	判明ブリッジ上左 8		
124	判明ブリッジ下左 8		
:	:		
131	判明ブリッジ下左 1		
132	判明ブリッジ下右 1		
:	:		
139	判明ブリッジ下右 8		

10. 出力ファイルのフォーマット

Dental Finder から出力されるファイルには、以下の 5 種類があります。

- 死後データ、生前データのエクスポートファイル
- 総検索の結果ファイル
- 個別検索の結果ファイル
- 総検索の結果印刷
- 個別検索の結果印刷

10.1. 死後 / 生前データのエクスポートファイル

登録されている死後データ、または生前データが出力されるファイルです。[ファイル]メニューの[エクスポート]から出力できます。

(1) 出力フォルダ

ファイルセレクションで指定したフォルダ

(2) ファイル名

ファイルセレクションで指定したファイル名

(3) ファイルフォーマット

","(カンマ)区切りの CSV フォーマットです。

1 行目から 5 行目まではヘッダ部、6 行目以降はデータ部です。

(3-1) ヘッダ部

1 行目にファイルの種類が出力されます。

ファイルの種類は、死後データの場合「死後記録デンタルチャート」、生前データの場合「生前記録デンタルチャート」です。

2 行目から 5 行目までは空行です。

(3-2) データ部

1 行に 1 件分の登録データが出力されます。

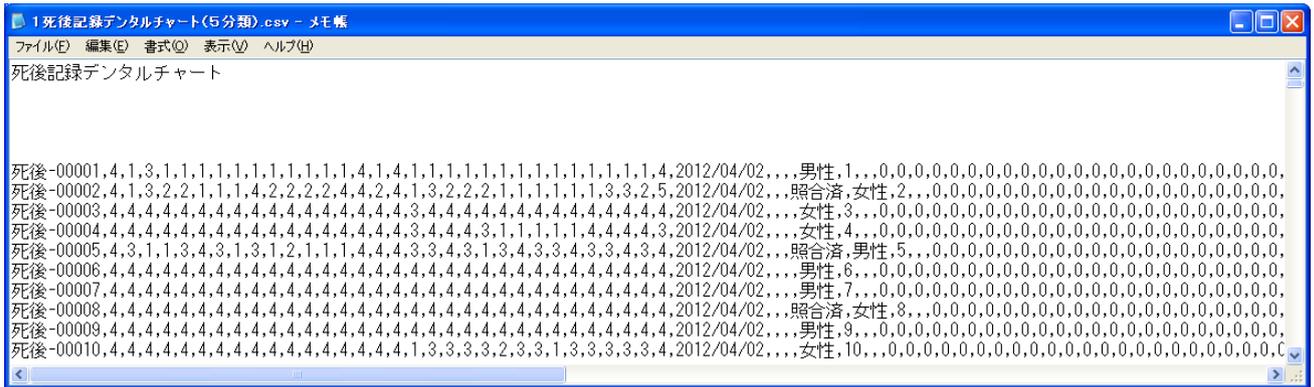
1 件分は以下のデータで構成されます。

	項目	サイズ	内容
1	ID	可変	ID 上位部+"-"(ハイフン)+ID 下位部
2	上右 8	各 1byte	デンタルチャート 32 本分の歯科情報が以下の番号で出力されます。
	:		
9	上右 1		

10	上左 1		1:健全歯 2:インレー・AF 3:全部修復 4:欠損・C4 5:情報なし
	:		
17	上左 8		
18	下左 8		
	:		
25	下左 1		
26	下右 1		
	:		
33	下右 8		
34	登録日	10byte	
35	場所	可変	
36	摘要	可変	
37	照合	可変	判別状態が「判明していない」の場合空。「デンタルチャートで判明」、または「他の情報で判明」の場合"照合済"が出力されます。
38	性別	可変	「不明」の場合空。「男性」の場合"男性"、「女性」の場合"女性"が出力されます。
39	No.	可変	登録番号
40	氏名	可変	
41	年齢	可変	「不明」の場合空。「不明」外の場合、設定に合わせて以下のいずれかの文字列が出力されます。 "0~9 才" "10 代" "20 代" "30 代" "40 代" "50 代" "60 代" "70 代" "80 代" "90 代" "100 才以上"
42	ブリッジ上右 8	可変	ブリッジ有無 32 本分のブリッジ情報が以下の番号で出力されます。 0:ブリッジなし 1:ブリッジあり
	:		
49	ブリッジ上右 1		
50	ブリッジ上左 1		
	:		
57	ブリッジ上左 8		

58	ブリッジ下左 8		
:	:		
65	ブリッジ下左 1		
66	ブリッジ下右 1		
:	:		
73	ブリッジ下右 8		
74	判別状態	可変	設定に合わせて以下のいずれかの文字列が出力されます。 "判明していない" "デンタルチャートで判明" "他の情報で判明"
75	判明 ID	可変	ID 上位部+"-"(ハイフン)+ID 下位部
76	判明上右 8	空、または 各 1byte	判明 ID デンタルチャート 判明 ID が登録データの場合、32 本分の歯科情報が以下の番号で出力されます。 1:健全歯 2:インレー・AF 3:全部修復 4:欠損・C4 5:情報なし
:	:		
83	判明上右 1		
84	判明上左 1		
:	:		
91	判明上左 8		
92	判明下左 8		
:	:		
99	判明下左 1		
100	判明下右 1		
:	:		
107	判明下右 8		
108	判明ブリッジ上右 8	空、または 各 1byte	判明 ID ブリッジ有無 判明 ID が登録データの場合、32 本分のブリッジ情報が以下の番号で出力されます。 0:ブリッジなし 1:ブリッジあり
:	:		
115	判明ブリッジ上右 1		
116	判明ブリッジ上左 1		
:	:		
123	判明ブリッジ上左 8		
124	判明ブリッジ下左 8		
:	:		
131	判明ブリッジ下左 1		
132	判明ブリッジ下右 1		
:	:		
139	判明ブリッジ下右 8		

(4) 出力例



10.2. 総検索の結果ファイル

総検索画面に表示されている検索結果が出力されるファイルです。総検索画面の[ファイルに保存]ボタンから出力できます。

(1) 出力ファイル

ファイルセレクションで指定したフォルダ

(2) ファイル名

ファイルセレクションで指定したファイル名

(3) ファイルフォーマット

","(カンマ)区切りの CSV フォーマットです。

1 行目はヘッダ部、2 行目以降はデータ部です。

ヘッダ部は、データ部の出力データ項目名が出力されます。

データ部は、1 行に検索元データ 1 件と検索先データが複数件、検索条件とソート順の設定をもとに出力されます。

(3-1) 検索元データ

項目	サイズ	内容
1 ID	可変	ID 上位部+"-"(ハイフン)+ID 下位部 判明済みデータの場合、先頭に"*"(アスタリスク)が出力されます。
2 照合優先度	可変	検索結果 1 位のデータが、2 位のデータと比べてどれだけ抜きんでいるかを示す度数が出力されます。

(3-2) 検索先データ

検索先データ 1 件分は以下のデータで構成されます。

項目	サイズ	内容
1 ID	可変	ID 上位部+"-"(ハイフン)+ID 下位部 判明済みデータの場合、先頭に"*"(アスタリスク)が出力されます。
2 検索数	可変	検索元データ、検索先データともデンタルチャートが 5 以外の歯数。
3 完全一致数	可変	検索元データと検索先データのデンタルチャートが一致している歯数
4 全修復・欠損一致数	可変	検索元データと検索先データのデンタルチャートが 3、または 4 で一致している歯数。
5 矛盾なし一致数	可変	検索先データのデンタルチャートが検索元データのデンタルチャート以上の歯数。
6 スコア	可変	検索元データと検索先データのスコアの重みづけを全歯で積算し、平均した値。

(4) 出力例



10.3. 個別検索の結果ファイル

個別検索画面に表示されている検索結果が出力されるファイルです。個別検索画面の[ファイルに保存]ボタンから出力できます。

(1) 出力ファイル

ファイルセレクションで指定したフォルダ

(2) ファイル名

ファイルセレクションで指定したファイル名

(3) ファイルフォーマット

","(カンマ)区切りの CSV フォーマットです。

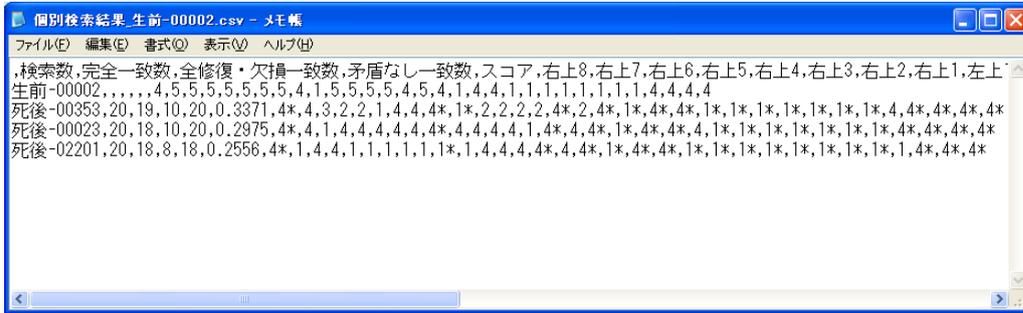
1 行目はヘッダ部、2 行目以降はデータ部です。

ヘッダ部は、データ部の出力データ項目が出力されます。

データ部は、2 行目に検索元データ、3 行目以降に検索先データが検索条件の設定をもとに出力されます。検索元データ、および検索先データは以下のデータで構成されます。

	項目	サイズ	内容
1	ID	可変	ID 上位部+"-"(ハイフン)+ID 下位部
2	検索数	可変	検索元データは空。 検索先データは、検索元データ、検索先データともデンタルチャートが 5 以外の歯数。
3	完全一致数	可変	検索元データは空。 検索先データは、検索元データと検索先データのデンタルチャートが一致している歯数。
4	全修復・欠損一致数	可変	検索元データは空。 検索先データは、検索元データと検索先データのデンタルチャートが 3、または 4 で一致している歯数。
5	矛盾なし一致数	可変	検索元データは空。 検索先データは、検索先データのデンタルチャートが検索元データのデンタルチャート以上の歯数。
6	スコア	可変	検索元データは空。 検索先データは、検索元データと検索先データのスコアの重みづけを全歯で積算し、平均した値。
7	上右 8	各 1byte	デンタルチャート 32 本分の歯科情報が以下の番号で出力されます。 1:健全歯 2:インレー・AF 3:全部修復 4:欠損・C4 5:情報なし 検索先データは、検索先データと一致している場合、"*"(アスタリスク)が出力されます。
	:		
14	上右 1		
15	上左 1		
	:		
22	上左 8		
23	下左 8		
	:		
30	下左 1		
31	下右 1		
	:		
39	下右 8		

(4) 出力例



10.4. 総検索の結果印刷

総検索画面に表示されている検索結果が印刷されます。総検索画面の[印刷]ボタンから出力できます。

検索指定：生前→死後
表示順：完全一致数
判明済み：出力

作成日：2012年02月27日 23時00分

総検索

判明済み	生前ID	照合優先度	判明済み	TOP1				TOP2				TOP3									
				検索数	完全一致数	全修復欠損一致数	矛盾なし一致数	スコア	検索数	完全一致数	全修復欠損一致数	矛盾なし一致数	スコア	検索数	完全一致数	全修復欠損一致数	矛盾なし一致数	スコア			
	生前-00001	-7		死後-00229	30	21	9	25	0.0475	死後-00334	30	20	8	24	0.0743	死後-02384	30	19	10	26	0.0552
	生前-00002	1		死後-00353	20	19	10	20	0.3371	死後-00023	20	18	10	20	0.2975	死後-02201	20	18	8	18	0.2556
	生前-00003	-6		死後-00818	32	26	26	32	0.5083	死後-01005	32	26	26	32	0.5083	死後-01185	32	25	25	31	0.4497
	生前-00004	-4		死後-00414	16	12	12	16	0.1610	死後-02333	16	12	12	16	0.1606	死後-01651	16	12	12	16	0.1927
	生前-00005	-2		死後-01818	32	26	22	32	0.3684	死後-00075	32	24	19	27	0.2548	死後-00530	32	23	18	26	0.1774
	生前-00006	-5		死後-01818	32	23	19	32	0.1868	死後-00043	32	21	16	27	0.0334	死後-00530	32	21	16	27	0.0864
*	生前-00007	-4		死後-01562	32	28	24	31	0.6004	死後-00798	32	28	23	31	0.5907	死後-00071	32	28	24	30	0.6193
*	生前-00008	-5		死後-01927	30	23	2	25	0.0328	死後-01270	31	22	2	23	-0.0381	死後-00851	32	22	2	24	-0.0464
	生前-00009	-2		死後-02019	32	30	3	31	0.2979	死後-00285	32	30	2	31	0.2767	死後-01442	32	29	3	32	0.2695
	生前-00010	-1		死後-00064	32	31	31	32	0.8770	死後-00807	32	31	31	32	0.8770	死後-00470	32	31	31	32	0.8770
	生前-00011	-4		死後-01313	32	26	2	27	0.0818	死後-00988	32	25	4	29	0.1164	死後-01610	32	25	2	28	0.0496
	生前-00012	-11		死後-00092	30	19	18	30	0.1037	死後-02175	32	19	18	27	0.0698	死後-01041	32	19	17	26	0.0015
	生前-00013	1		死後-02132	13	12	12	13	0.2280	死後-02313	13	11	10	11	0.1675	死後-00617	13	10	10	12	0.1221
	生前-00014	-4		死後-00887	32	28	4	31	0.3156	死後-00375	32	28	5	30	0.2932	死後-00369	28	27	3	28	0.3137
	生前-00015	-7		死後-01764	32	23	10	27	0.1019	死後-01646	32	22	16	30	0.3126	死後-01079	32	21	11	25	0.0275
	生前-00016	-2		死後-02289	32	28	28	32	0.6426	死後-00399	32	27	27	29	0.5615	死後-00764	32	27	27	31	0.5840
	生前-00017	0		死後-00001	0	0	0	0	0.0000	* 死後-00002	0	0	0	0	0.0000	死後-00003	0	0	0	0	0.0000
	生前-00018	6		死後-00492	32	20	8	21	0.2880	死後-01850	32	26	7	27	0.2414	死後-00234	32	25	7	26	0.1549

インフォメーション

印刷されるデータ項目は総検索の結果ファイルと同じです。データ項目の詳細は「10.2 総検索の結果ファイル」を参照して下さい。

10.5. 個別検索の結果印刷

個別検索画面に表示されている検索結果が印刷されます。個別検索画面の[印刷]ボタンから出力できます。

検索指定：生前→死後
表示順：完全一致数
判明済み：出力

作成日：2012年02月27日 23時00分

個別検索

判明済み	検索数	完全一致数	全修復欠損一致数	矛盾なし一致数	スコア	上								下																								
						右				左				左				右																				
						8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	
	生前-00002	--	--	--	----	4	5	5	5	5	5	5	4	1	5	5	5	5	4	5	4	1	4	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	4	4
	死後-00353	20	19	10	20	0.3371	*4	4	3	2	2	1	4	4	*4	*1	2	2	2	*4	2	*4	*1	*4	*4	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	4	*4	*4	*4	
	死後-00023	20	18	10	20	0.2975	*4	4	1	4	4	4	4	*4	4	4	4	1	*4	4	*4	*1	*4	*4	4	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*4	*4	*4	
	死後-02201	20	18	8	18	0.2556	*4	1	4	4	1	1	1	1	*1	1	4	4	*4	4	*4	*1	*4	*4	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	1	*4	*4	*4	

インフォメーション

印刷されるデータ項目は個別検索の結果ファイルと同じです。データ項目の詳細は「10.3 個別検索の結果ファイル」を参照して下さい。